

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

**警告**

- 門扉は人や車が入り出すためのものです。使用用途、目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。特に開閉時、扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。重大な事故につながるおそれがあります。

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

**ポイント**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- 台車は重量物です。必ず2人以上で施工をお願いします。
- 控え柱の取付けにラチェットレンチ、ソケット（呼び10）が必要ですので、準備してください。
- ハンドルの取付けに六角レンチ（呼び2.5）が必要ですので、準備してください。
- ブレーキ戸車のワイヤー取付けにペンチが必要ですので、準備してください。

<施工上のご注意 つづき>

⚠ 注意

- 扉走行床面は水平に仕上げてください。
- 電装商品の場合は配線工事を有資格者の専門業者にご依頼ください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。
- 製品破損による人への被害、物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
 - ・ボルト・ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルク以上で固定した後に、緩みがない事を確認してください。
 - ・ボルト・ネジは締付けすぎない（被結合部材の破損、ねじが塑性伸びを起こさない状態）ようにしてください。

ネジ種類	タップ側材質		
	鋼材	アルミ	樹脂
φ4ネジ	1.5 N・m	1 N・m	0.75 N・m
M4ネジ			
φ5ネジ	3 N・m	1.5 N・m	—
M6ボルト	5 N・m	2.5 N・m	—
M8ボルト	25 N・m	12.5 N・m	—

🔑 ポイント

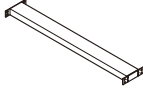
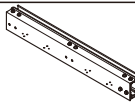
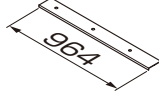
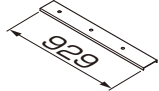
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

INDEX

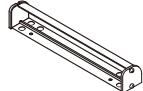
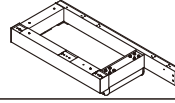
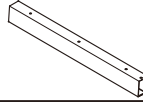
1	梱包明細表	4
2	基本寸法	8
	1. F1タイプ	8
	2. F2タイプ	9
	3. F3タイプ	10
	4. F4タイプ	11
	5. 本体連結仕様	12
3	本体の施工	13
	1. 台車の組立て	13
	2. 台車の設置	17
	3. フレームの組立て	18
	4. 框の取付け	22
	5. ブレーキの接続	25
4	パネルの施工	27
	1. F1パネルの場合	27
	2. F2パネルの場合	31
	3. F3・F4パネルの場合	32
	4. 笠木の取付け	34
5	部品の取付けと調整	35

1 梱包明細表

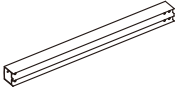
【1】パネルフレーム

名 称	略 図	員 数				
		単 独	先 頭	後 部		
				L10	L20	L30
中 棧		2	2	1	2	3
上 棧		1	1	1	1	1
棧溝カバー端部		4	2	2	2	2
棧溝カバー中間部		2	4	—	2	4

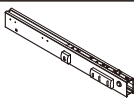
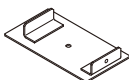
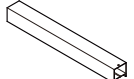
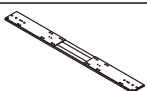
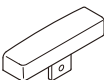
【2】台車

名 称	略 図	員 数		
		単 独	先 頭	後 部
側桁前カバー		1	1	—
台車		1	1	1
ブレーキワイヤーカバー取付材		1	1	—
ブレーキワイヤーカバー		1	1	—

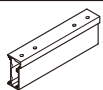
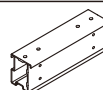
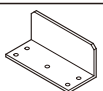
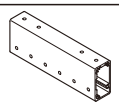
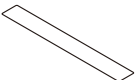
【3】控え柱

名 称	略 図	員 数	名 称	略 図	員 数
控え柱（横）		1	控え柱ブラケット（中間）		1
控え柱（縦）		1	【3-1】 M6×20六角ボルト（PW+SW）		2
			【3-2】 M6×12トラス小ネジ		4
			【3-3】 M6×16 六角ボルト（PW+SW）		12
控え柱ブラケット（下）		1	【3-4】 M6×35六角ボルト		2
			【3-5】 M6平座金		2
控え柱ブラケット（上）		1	【3-6】 M6バネ座金		2

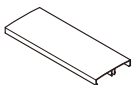
【4】 框

名 称	略 図	員 数	名 称	略 図	員 数
戸当り框		1	戸当り框下キャップ		1
後框		1	後框下キャップ		1
框取付材		左右各1	ブレーキワイヤーキャップ		1
笠木端部キャップ		2	【4-1】 M4×10トラス小ネジ		4

【5】 組立部品

名 称	略 図	員 数				
		単 独	先 頭	後 部		
				L10	L20	L30
ブレーキ戸車		1	1	—	—	—
戸車セット		3	1	4	4	4
下桟連結スリーブ		—	—	1	1	1
後桁連結スリーブ		—	—	1	1	1
前後ストッパー		1	—	1	1	1
上桟連結スリーブ		—	—	1	1	1
連結部シール		—	—	1	1	1
転倒防止金具		4	2	4	4	4
【5-1】 M8×16六角ボルト (PW緩み止め付)		7	3	12	11	11
【5-2】 φ4×10トラスタッピンネジ3種		21	21	6	12	18
【5-3】 φ5×10サラタッピンネジ3種		16	16	8	16	24
【5-4】 φ5×60ナベ タッピンネジ2種		16	16	—	—	—
【5-5】 M8×20六角ボルト (PW緩み止め付)		4	—	4	4	4
【5-6】 M6×16六角ボルト (PW+SW)		10	6	8	8	8
【5-7】 M4×20サラ小ネジ		16	16	—	—	—
【5-8】 M6×16ナベ小ネジ (PW+SW)		—	—	4	4	4
【5-9】 M6×20六角ボルト (PW+SW)		—	—	12	12	12
【5-10】 φ4×13ナベドリルネジ		3	3	—	—	—

【6】上棧笠木

名 称	略 図	員 数
上棧笠木		1

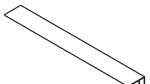
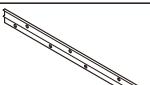
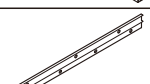
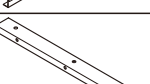
【7】パネル（F2・3・4タイプ）

名 称	略 図	員 数		
		F2	F3	F4
F2パネル		1	—	—
F3パネル		—	1	—
F4パネル		—	—	1
【7-1】φ4×13サラドリルネジ		2	—	—
【7-2】φ4×10トラスタッピンネジ3種		4	—	—

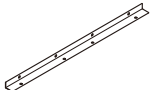
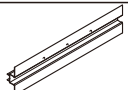
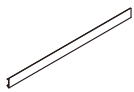
【8】F1意匠板部材

名 称	略 図	員 数
F1 意匠板		1

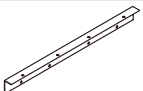
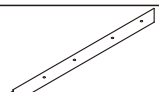
【9】F1取付部材

名 称	略 図	員 数			
		端 部		中 間	
		H12	H14	H12	H14
F1 板張り端部枠		2	2	—	—
F1 板張り端部取付材右		1	1	—	—
F1 板張り端部取付材左		1	1	—	—
F1 板張り中間取付材		—	—	2	2
【9-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種		32	38	26	32

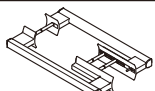
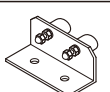
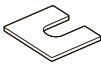
【10】 F3・F4取付部材（中間用）

名 称	略 図	員 数		
		H12	H14	H16
F3・F4中間取付材		2	2	2
F3・F4中間枠		1	1	1
F3・F4中間枠スペーサー		1	1	1
F3・F4中間枠フタ		1	1	1
【10-1】 φ4×13ナベドリルネジ		10	10	12
【10-2】 φ4×19ナベドリルネジ		3	3	3
【10-3】 M4×6ナベ小ネジ		8	8	8

【11】 F3・F4取付部材（端部用）

名 称	略 図	員 数		
		H12	H14	H16
F3・F4端部取付材		2	2	2
F3・F4端部枠		2	2	2
【11-1】 φ4×10トラスタッピンネジ3種		8	8	10
【11-2】 M4×6ナベ小ネジ		8	8	8
【11-3】 φ4×20ナベタッピンネジ3種		8	8	8

【12】 部品セット

名 称	略 図	員 数
ハンドルセット		1
後部ストッパー		1
落とし棒		1
スペーサー		2
前ストッパー		1

【12】 部品セット（つづき）

名 称	略 図	員 数
落とし棒受け		2
【12-1】 M10×60 後施工アンカーおねじ		2
【12-2】 M10×40 後施工アンカーめねじ		2
【12-3】 M10バネ座金		2
【12-4】 M10×25六角ボルト		2
【12-5】 M10平座金		2
【12-6】 M6×30 ナベ小ネジ（SW）		2
【12-7】 M4×16六角穴付ボルト		1
【12-8】 M4バネ座金		1
取付説明書<D627>	—	1
取扱説明書<UD129>	—	1

2 基本寸法

1. F1タイプ

1-1 片開き

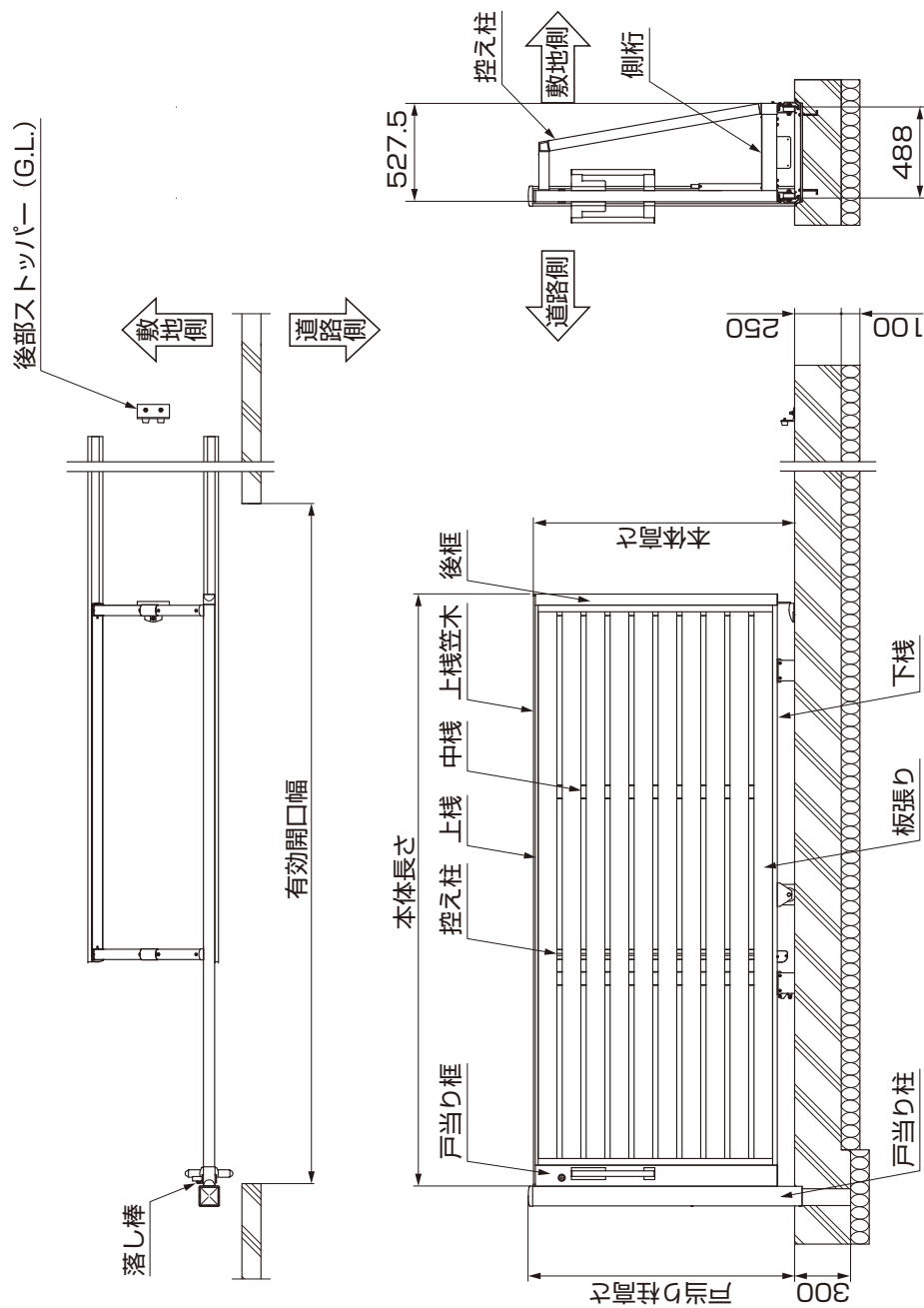


表1-2

	本体高さ	戸当り柱高さ
H12	1200	1228
H14	1400	1428

表1-1

	有効開口幅	本体長さ
W30	3000	3173
W40	4000	4173
W50	5000	5173
W60	6000	6173

2. F2タイプ

2-1 片開き

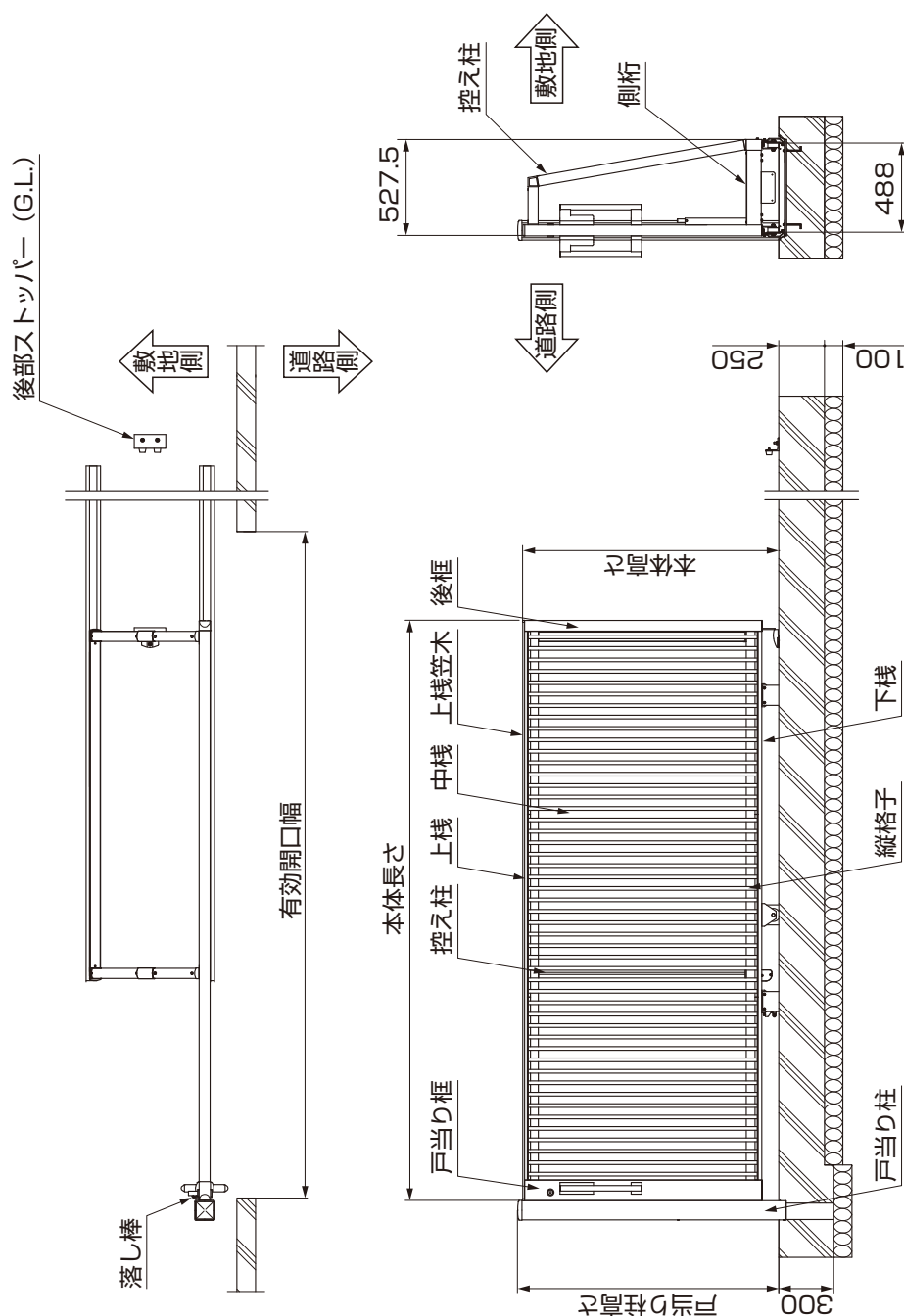


表2-2

	本体高さ	戸当り柱高さ
H12	1200	1228
H14	1400	1428
H16	1600	1628

表2-1

	有効開口幅	本体長さ
W30	3000	3173
W40	4000	4173
W50	5000	5173
W60	6000	6173

3. F3タイプ

3-1 片開き

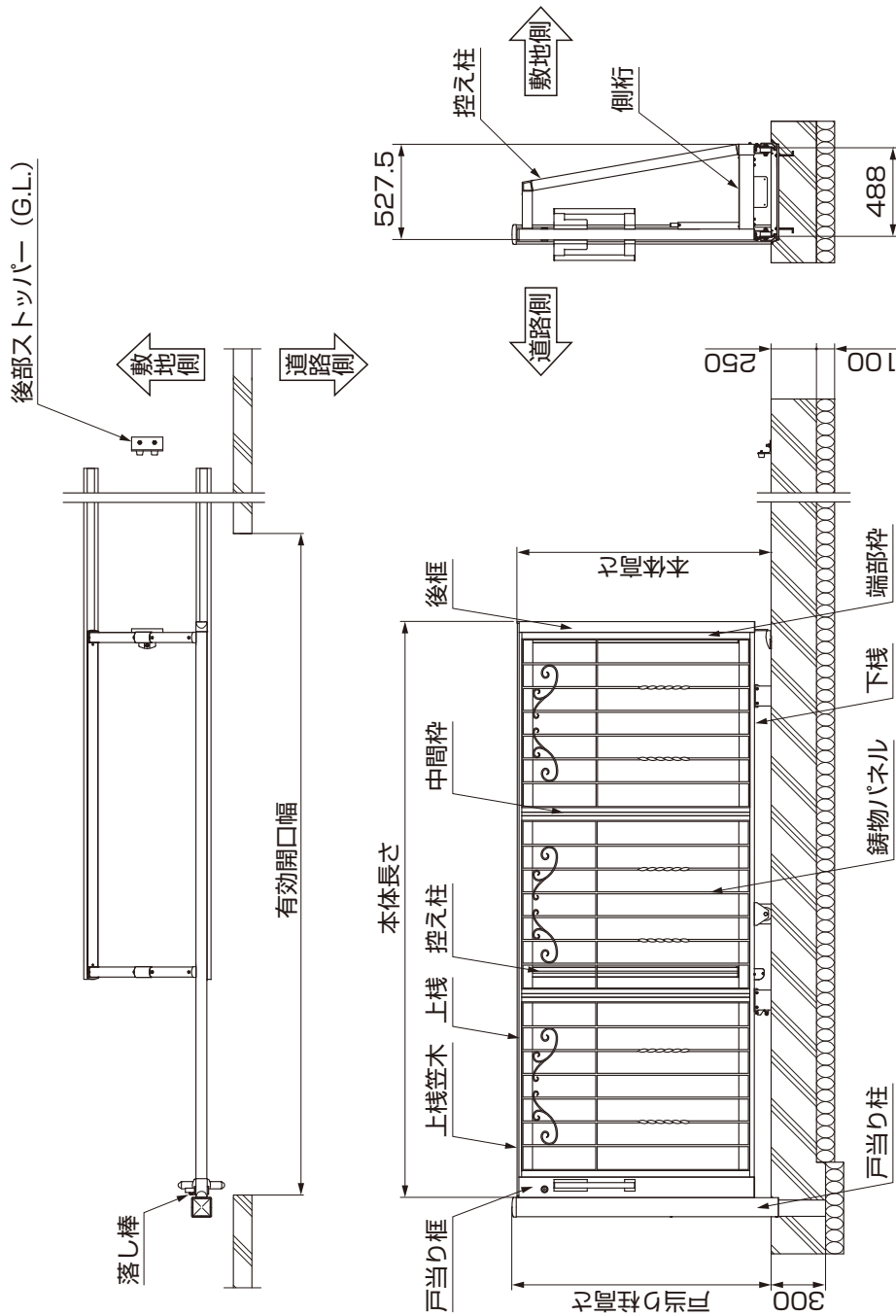


表3-2

	本体高さ	戸当り柱高さ
H12	1200	1228
H14	1400	1428
H16	1600	1628

表3-1

	有効開口幅	本体長さ
W30	3000	3173
W40	4000	4173
W50	5000	5173
W60	6000	6173

4. F4タイプ

4-1 片開き

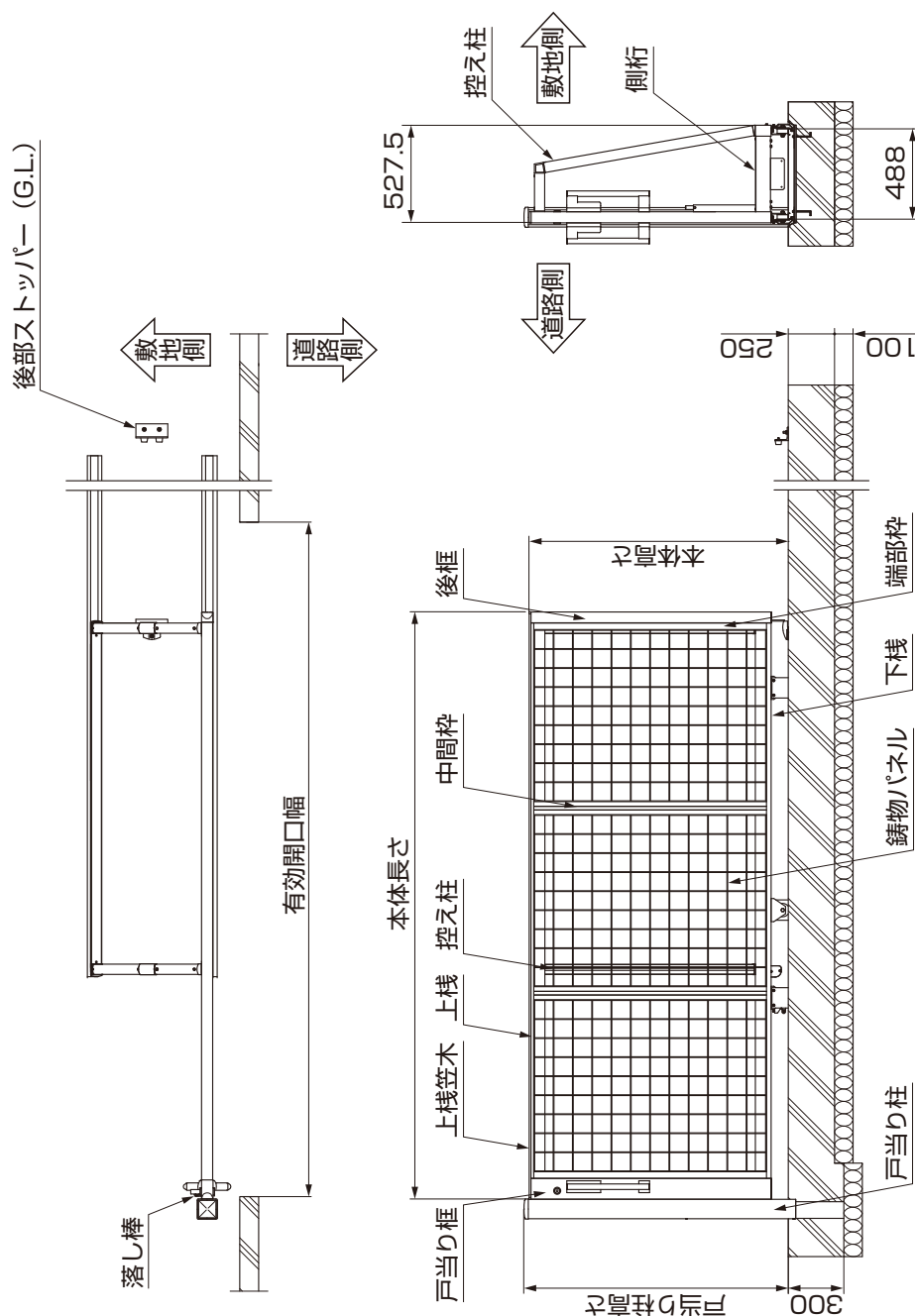


表4-1

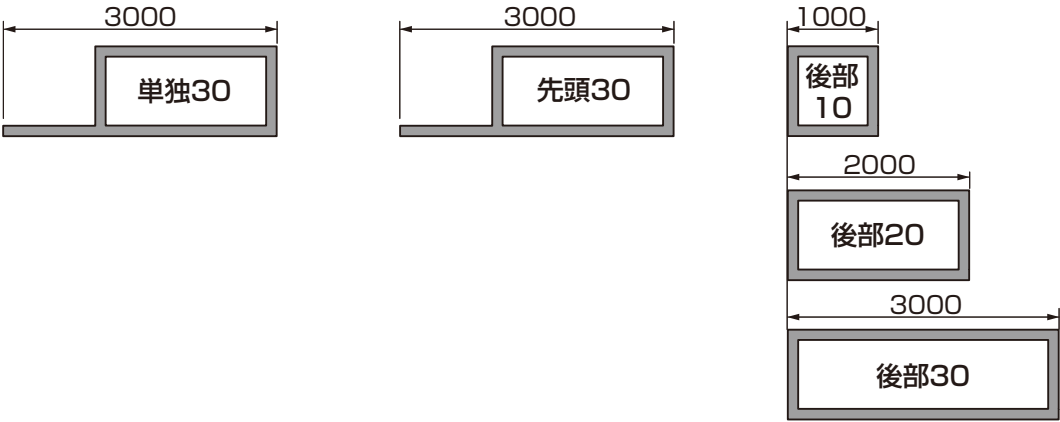
	有効開口幅	本体長さ
W30	3000	3173
W40	4000	4173
W50	5000	5173
W60	6000	6173

表4-2

	本体高さ	戸当り柱高さ
H12	1200	1228
H14	1400	1428
H16	1600	1628

5.本体連結仕様

5-1 本体ユニット



5-2 サイズ別連結仕様

W30 (単独30)	
W40 (先頭30+後部10)	
W50 (先頭30+後部20)	
W60 (先頭30+後部30)	

3 本体の施工

1. 台車の組立て

※台車の組立ては梱包材の上で作業を行ってください。

1-1 戸車の取付け

(1) 取付け位置の確認

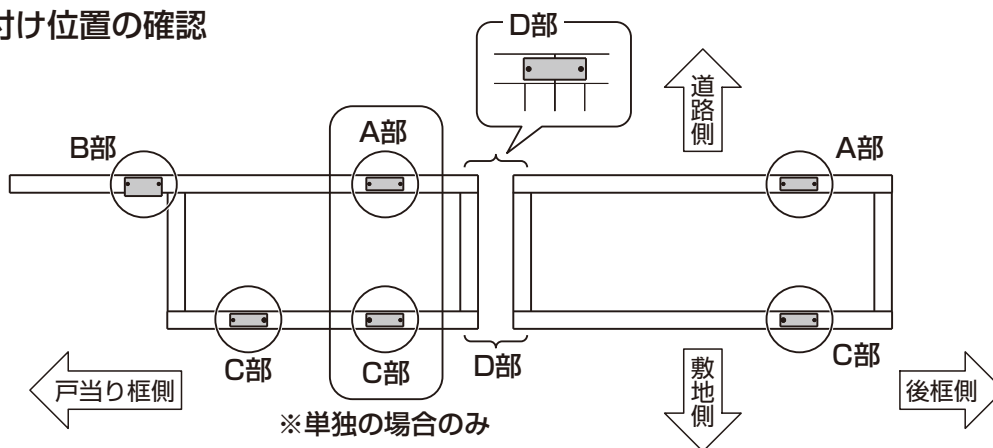
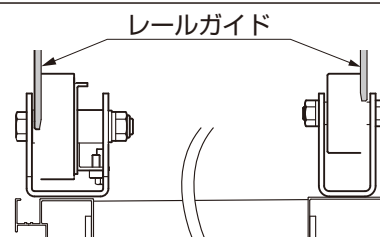


図1-1 先頭台車 戸車取付け位置
単独台車 戸車取付け位置

図1-2 後部台車 戸車取付け位置

ポイント

- 戸車はレールガイドが外側になるように取付けてください。



①戸車の取付け位置を確認してください。

(2) A部、B部の取付け

【5-1】 M8×16

六角ボルト (PW緩み止め付)

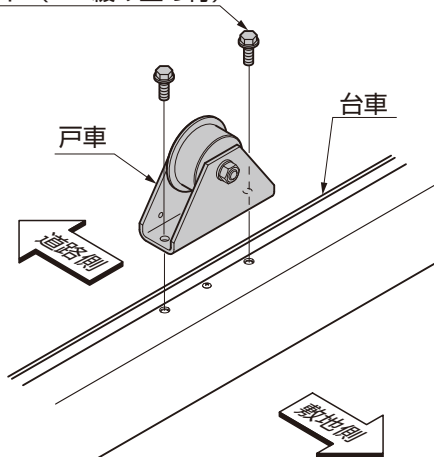


図1-3 A部の場合

①台車の下枠に戸車を【5-1】で取付けてください。

【5-1】 M8×16

六角ボルト (PW緩み止め付)

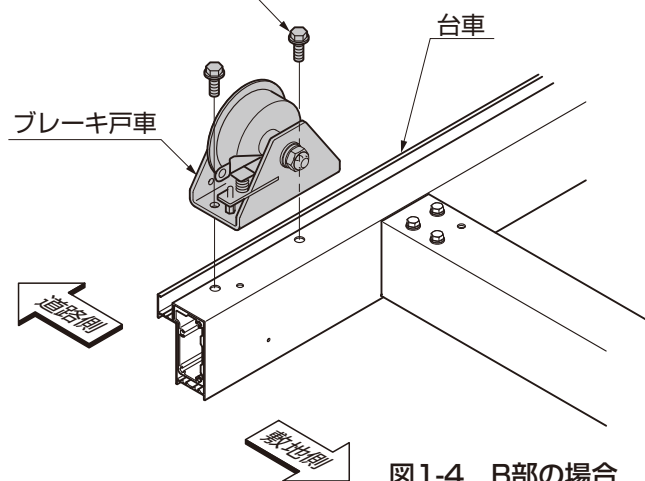


図1-4 B部の場合

1. (つづき)

1-1 つづき

(3) C部の取付け

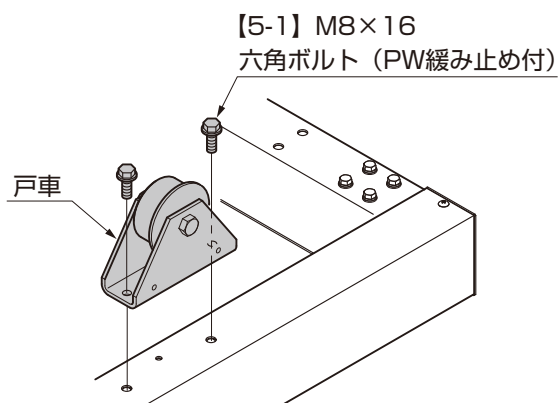


図1-5 C部 単独、後部L10の場合

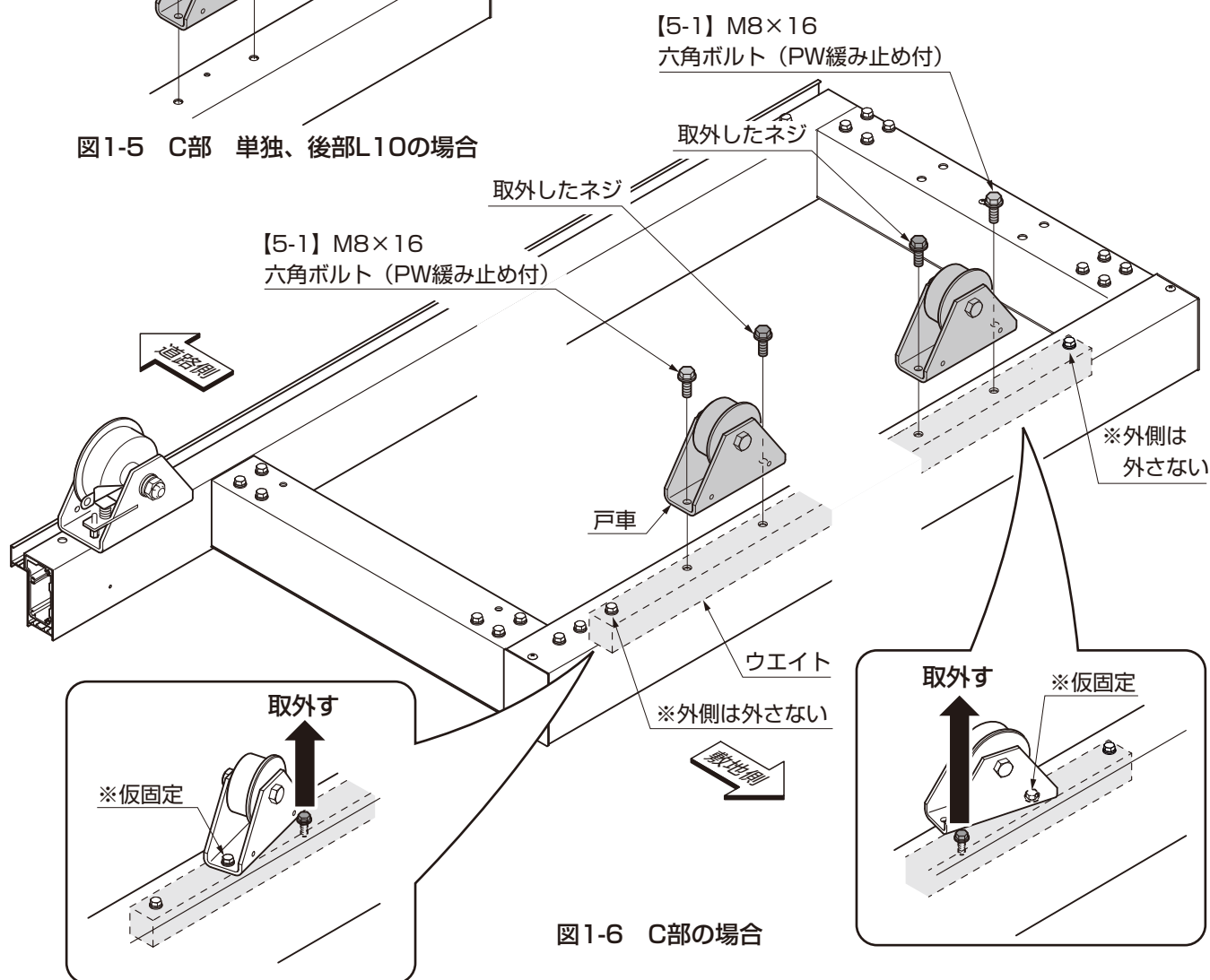


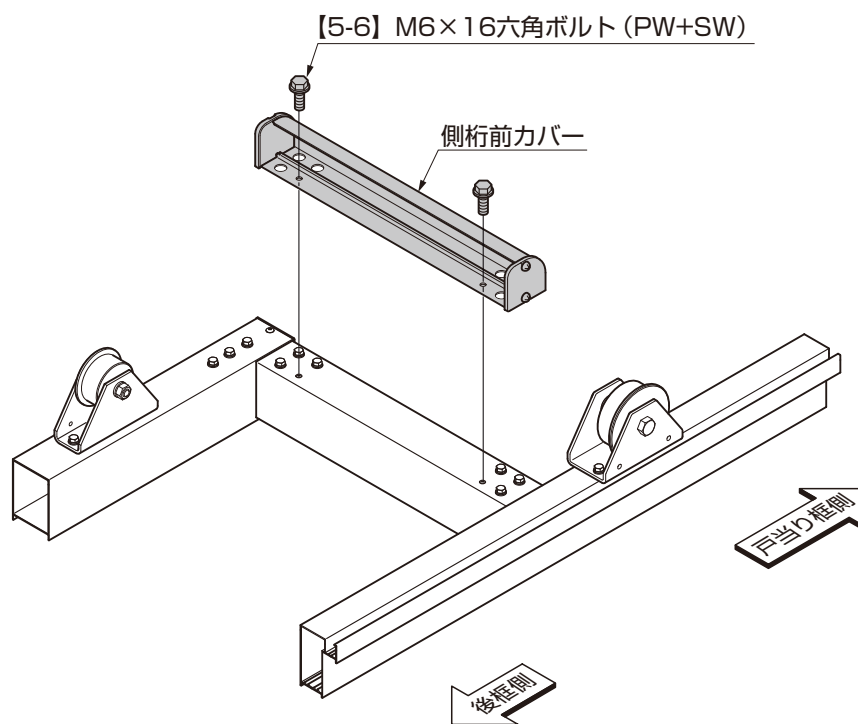
図1-6 C部の場合

- ①戸車を【5-1】で仮固定してください。
- ②台車のウエイトを取付けているボルトを1本取り外してください。
- ③②で取り外したボルトと【5-1】で戸車を取付けてください。

ポイント

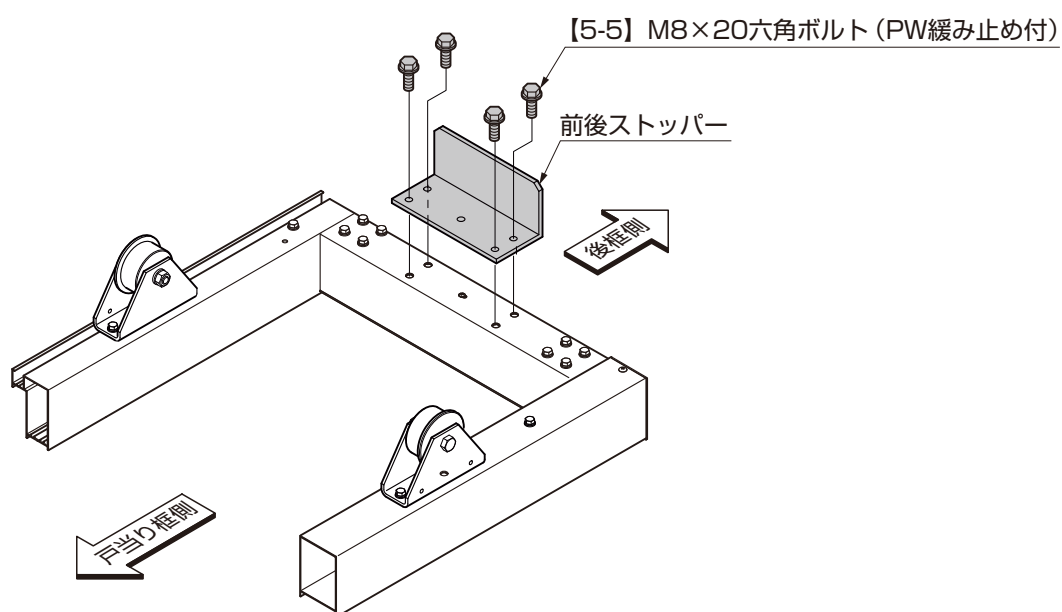
- ウエイトは六角ボルト2本で取付けています。戸車を取付けるために取外すボルトは1本だけです。2本とも取外してしまうとウエイトが外れて、戸車が取付けられなくなります。

1-2 側桁前カバーの取付け ※先頭・単独の場合の作業です。



①側桁前カバーを【5-6】で取付けてください。

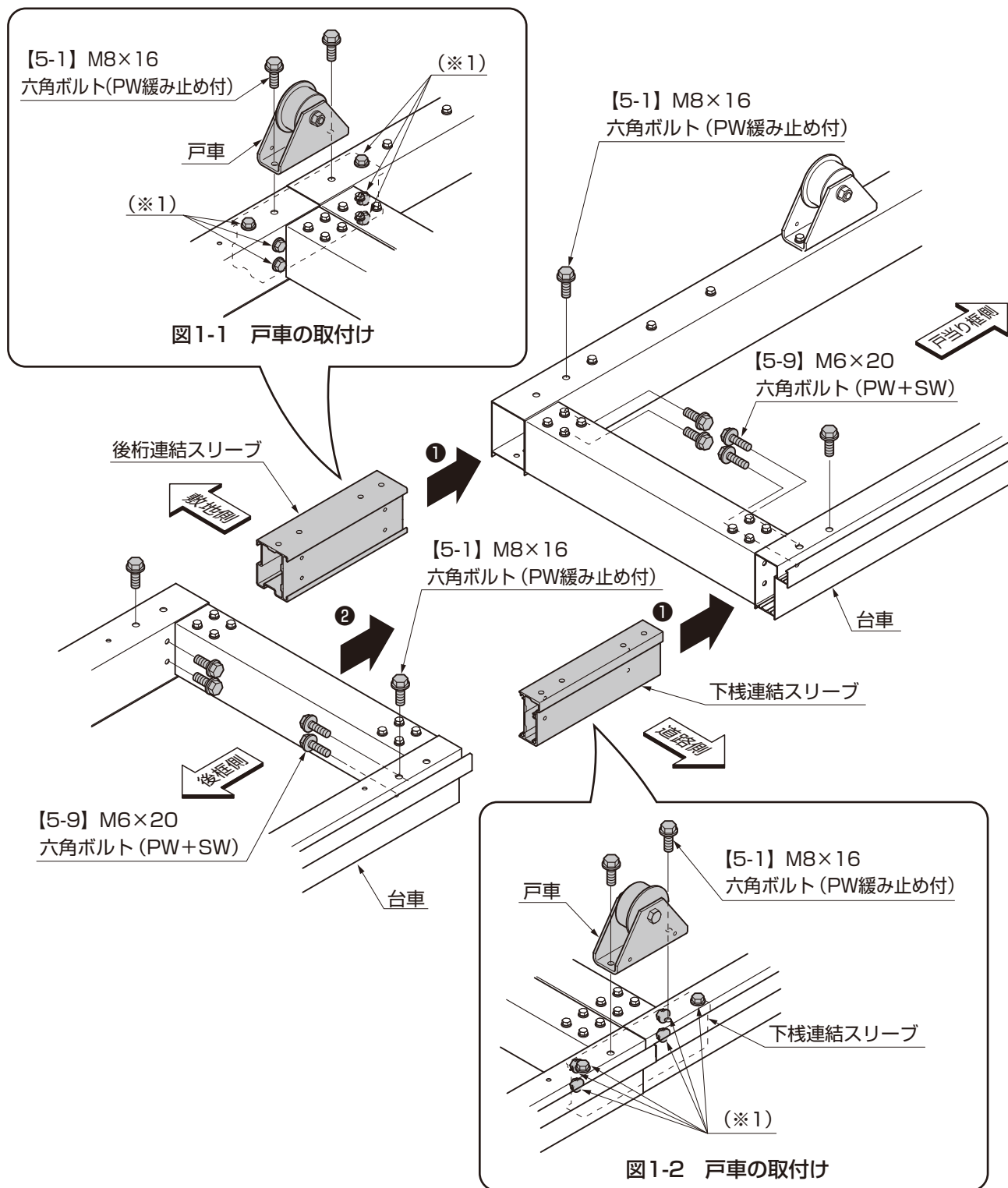
1-3 前後ストッパーの取付け ※後部・単独の場合の作業です。



①前後ストッパーを【5-5】で取付けてください。

1. (つづき)

1-4 連結部 (D部) の取付け ※連結の場合の作業です。



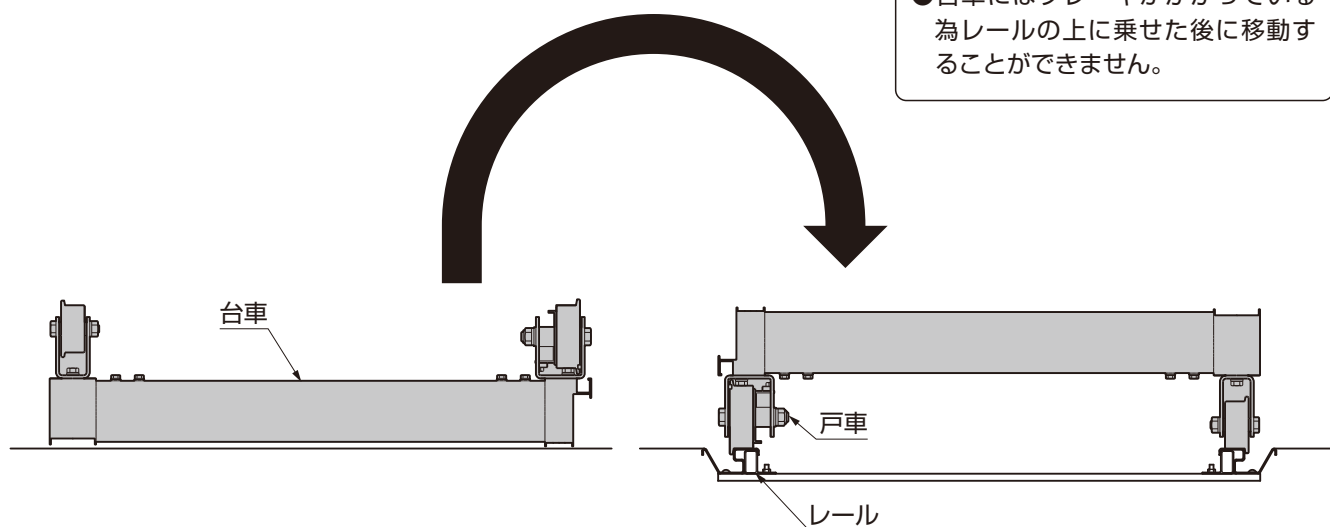
- ① 下枠連結スリーブ、後桁連結スリーブを戸当り框側の台車に差込み、【5-1】、【5-9】で仮固定してください。
- ② ①に後枠側の台車を差込み、【5-1】、【5-9】で仮固定してください。
- ③ 戸車を【5-1】で取付けてください。(図1-1、図1-2参照)
- ④ ①、②の仮固定した【5-1】、【5-9】を本締めしてください。(図1-1、図1-2参照) (※1)

2. 台車の設置

2-1 レールへの設置

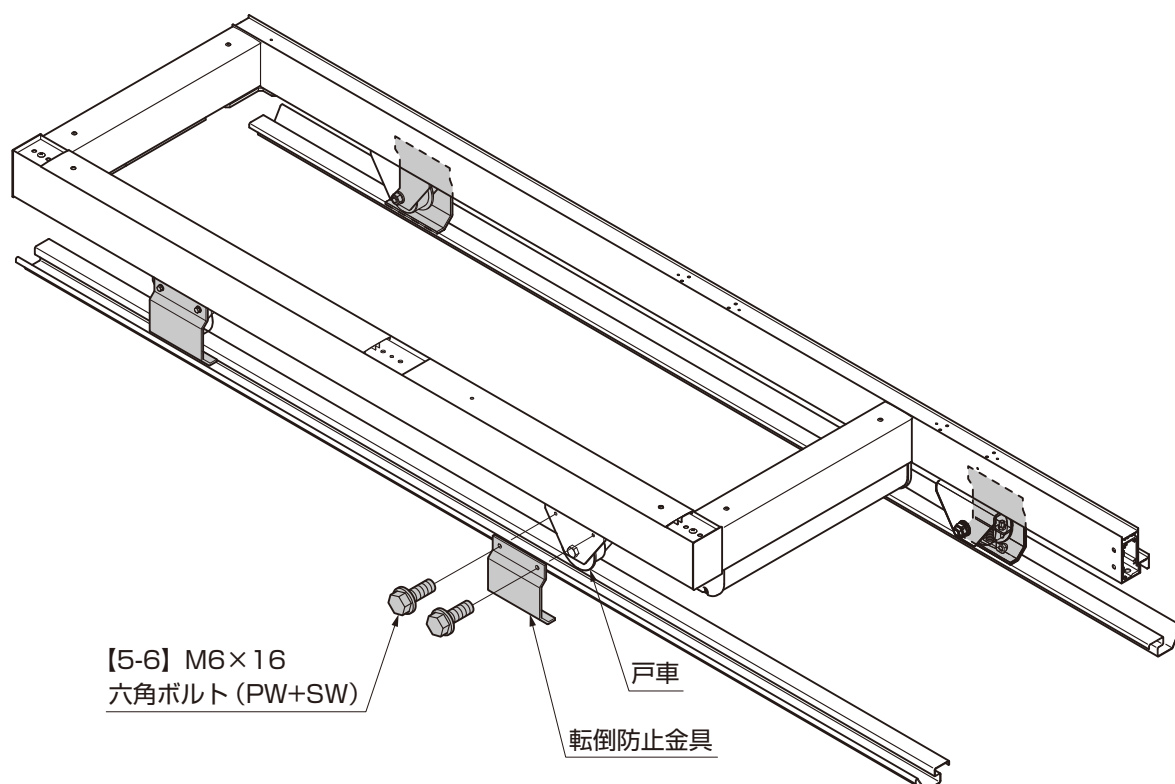
ポイント

- 台車にはブレーキがかかっている為レールの上に乘せた後に移動することができません。



① 台車を回転させて、レールの上に台車をのせてください。

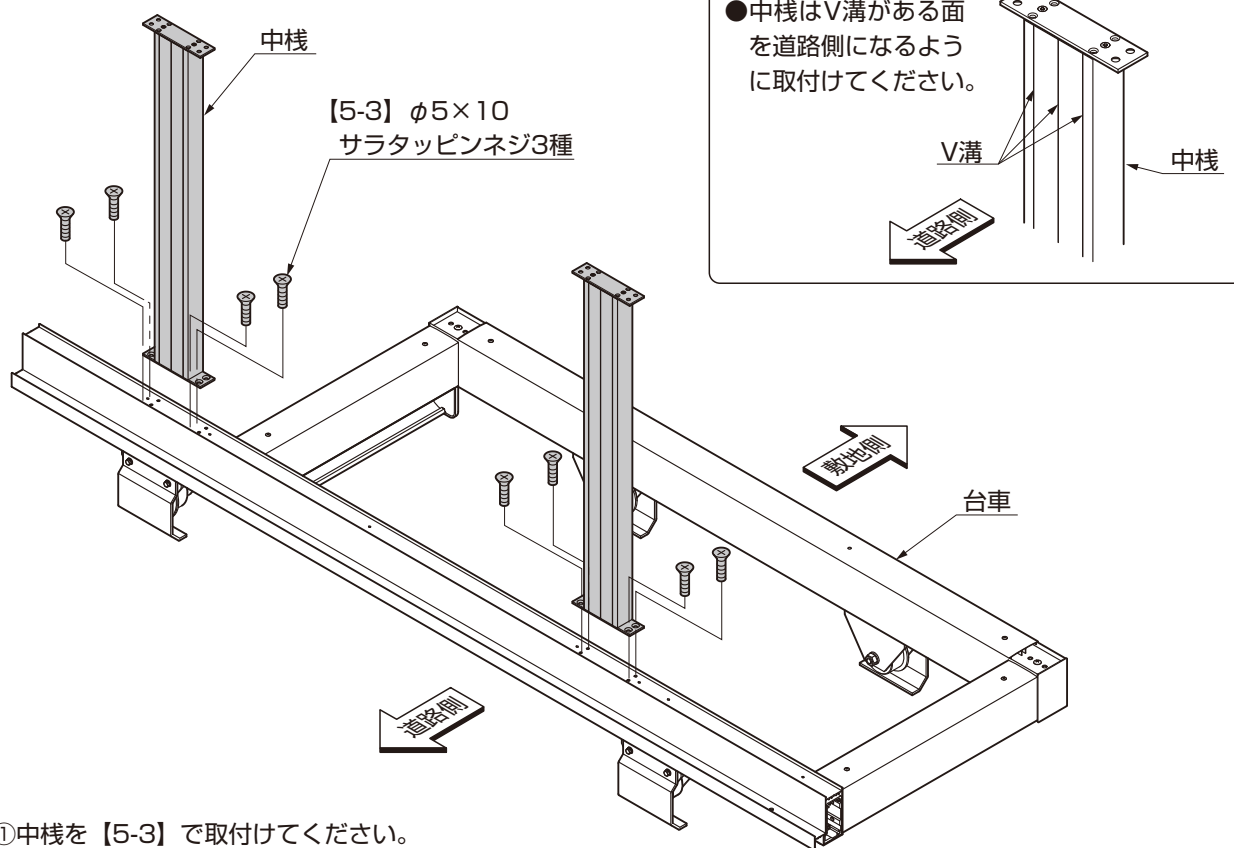
2-2 転倒防止金具の取付け



① 転倒防止金具を戸車に【5-6】で取付けてください。

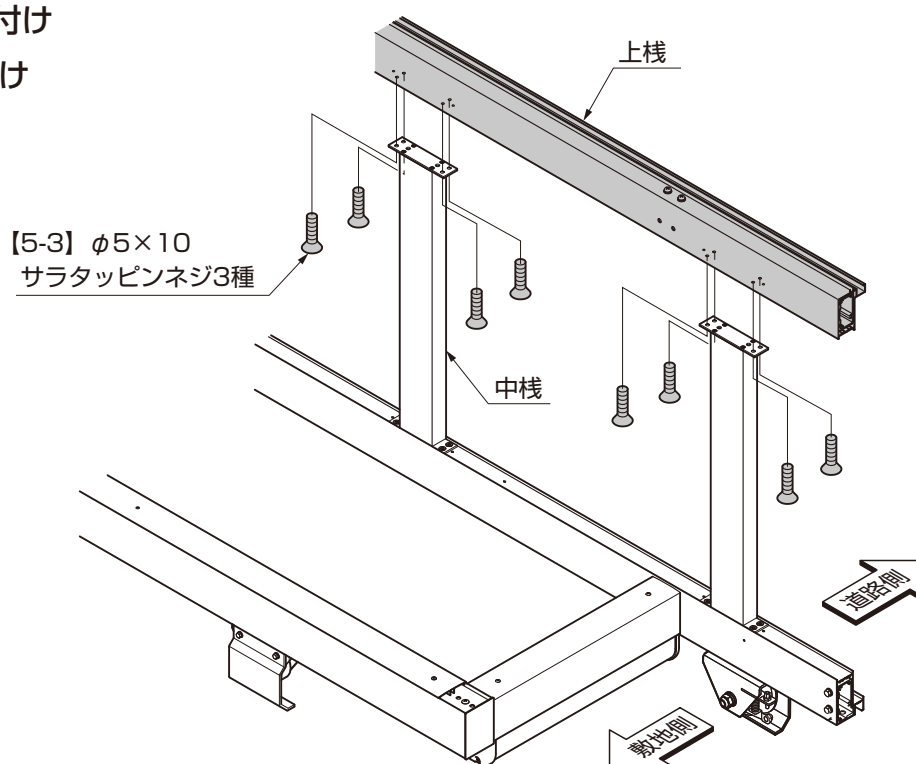
3. フレームの組立て

3-1 中棧の取付け



3-2 上棧の取付け

(1) 上棧の取付け



(2) 上栈の連結 ※連結の場合の作業です。

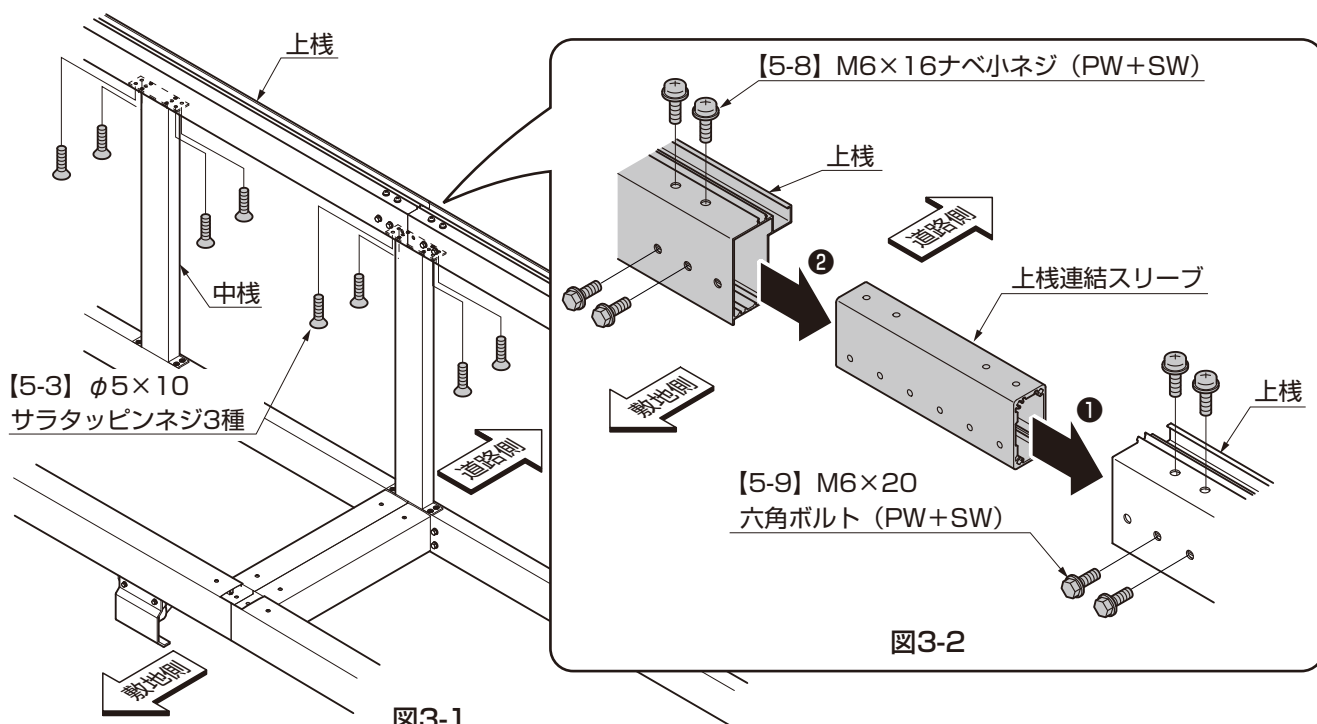
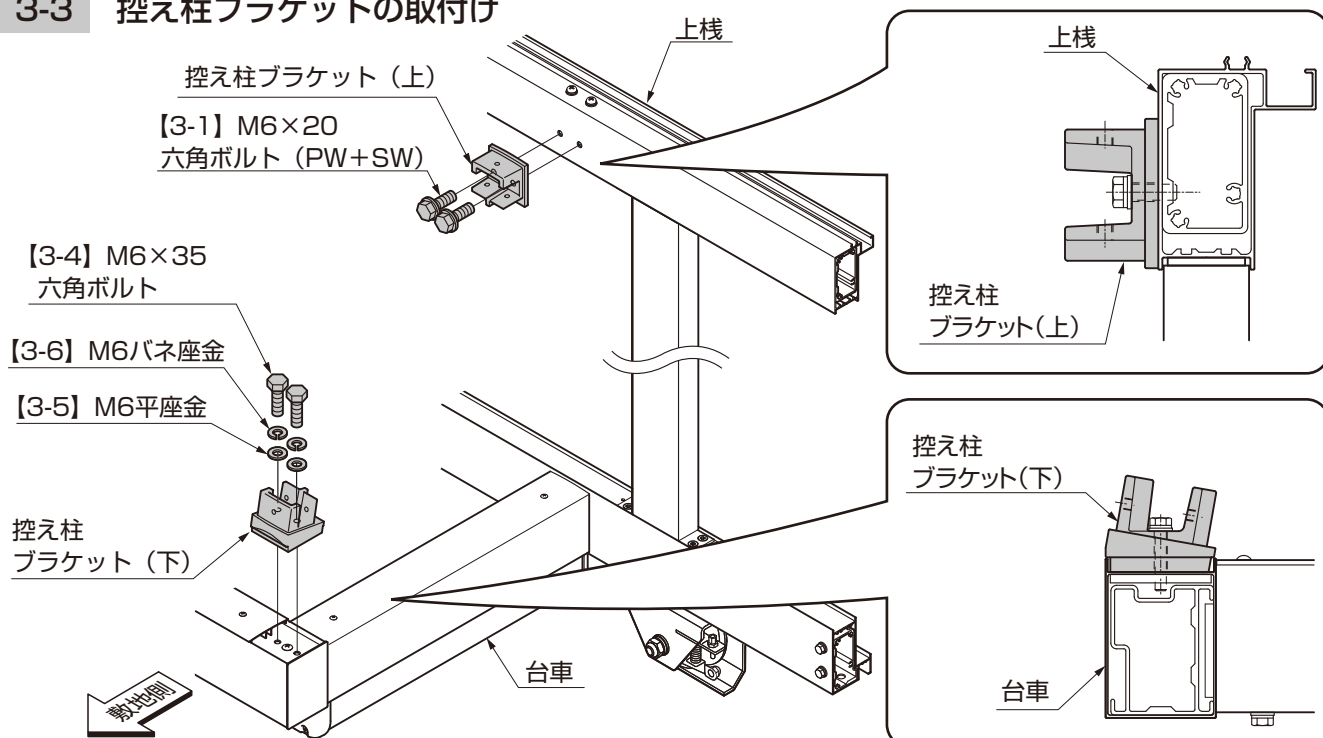


図3-1

図3-2

- ①中栈に取付けた上栈に上栈連結スリーブを差込み、【5-8】、【5-9】で仮固定してください。(図3-2参照)
- ②もう片方の上栈を仮固定した上栈連結スリーブに差込み、【5-8】、【5-9】で取付けてください。(図3-2参照)
- ③①で仮固定した【5-8】、【5-9】を本締めしてください。(図3-2参照)
- ④取付けた上栈に中栈を【5-3】で取付けてください。(図3-1参照)

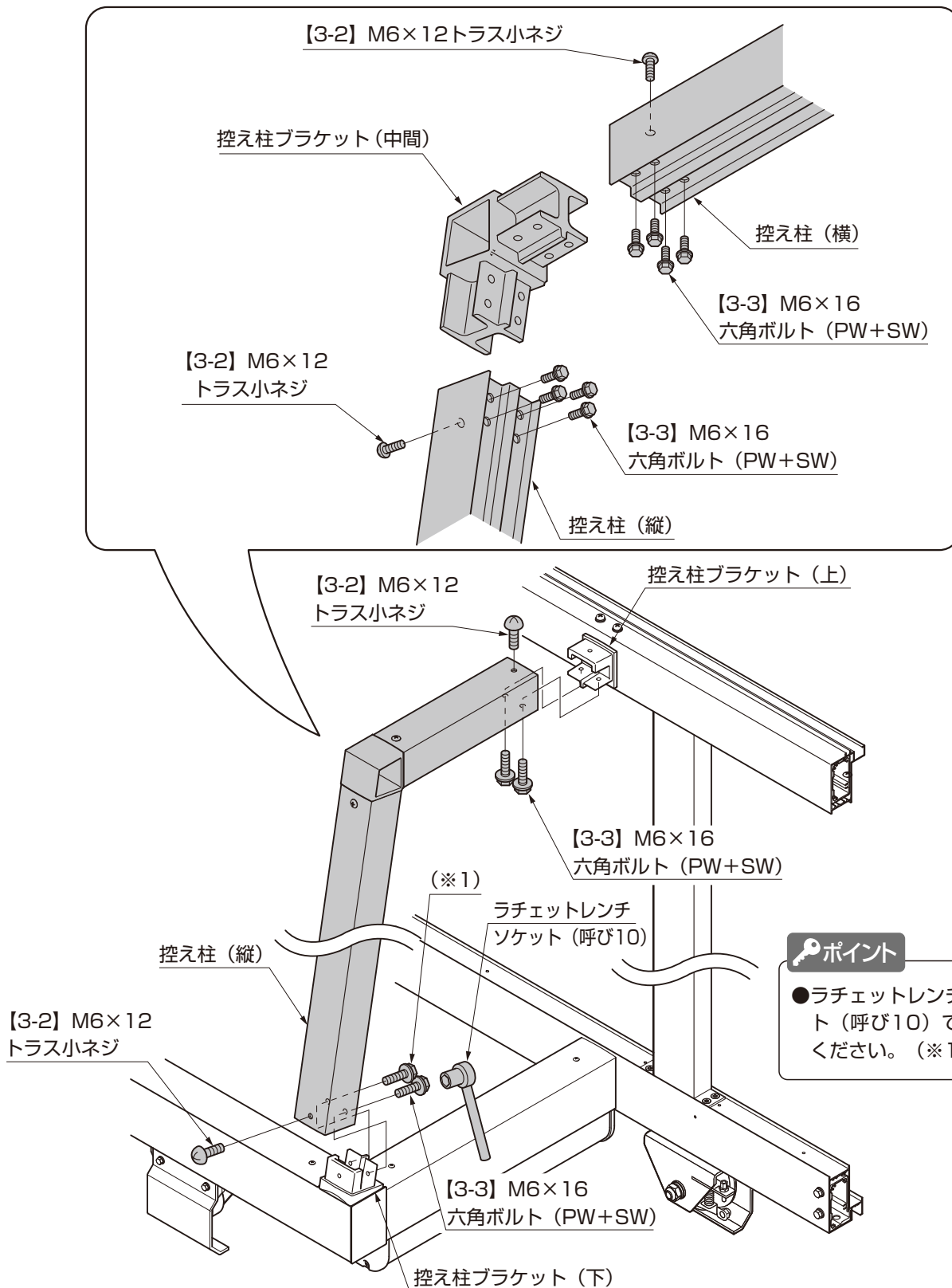
3-3 控え柱ブラケットの取付け



- ①控え柱ブラケット (上) を上栈に【3-1】で取付けてください。
- ②控え柱ブラケット (下) を台車に【3-4】、【3-5】、【3-6】で取付けてください。

3. (つづき)

3-4 控え柱の取付け

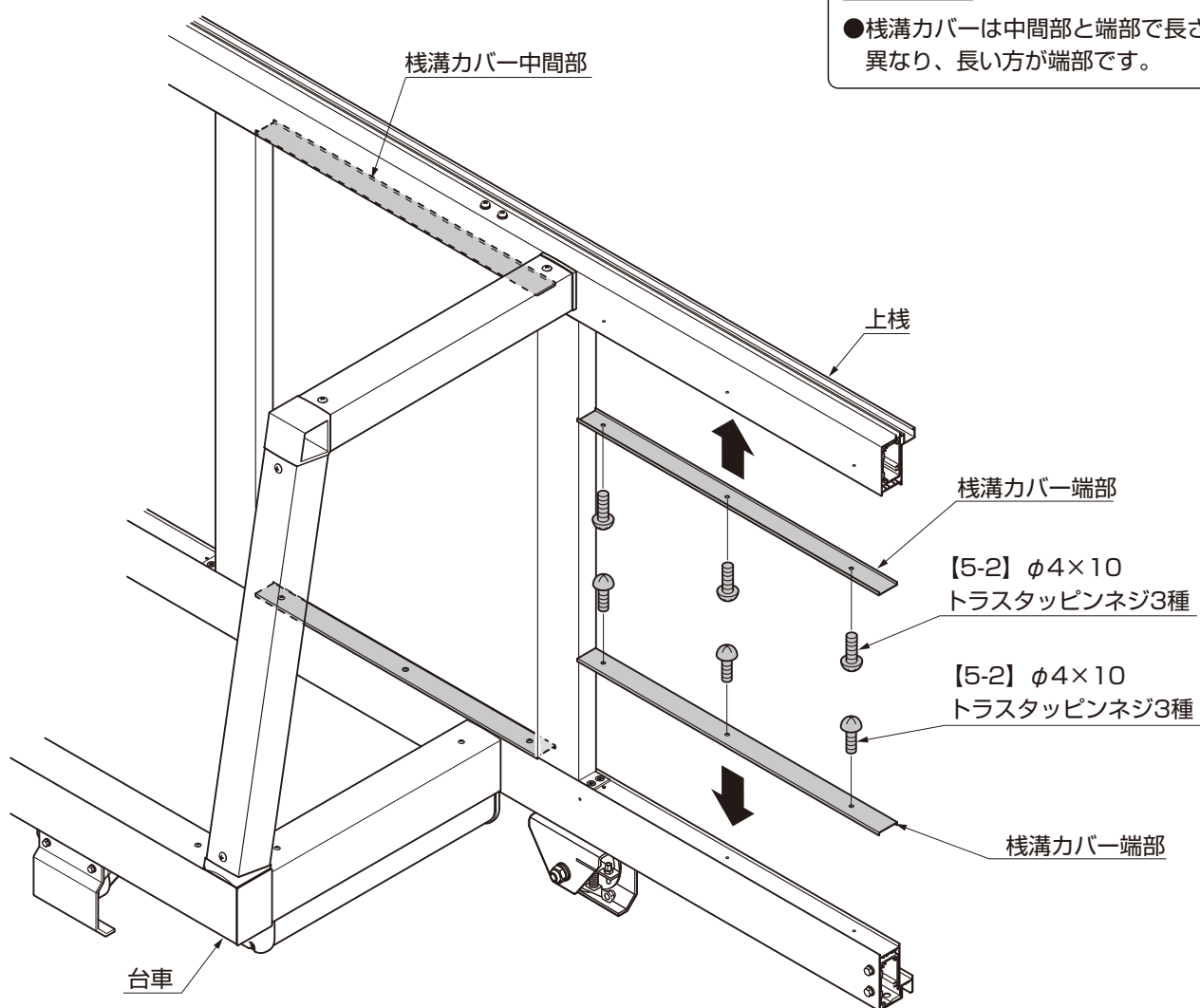


- ① 控え柱ブラケット (中間) に控え柱 (横)、控え柱 (縦) を差込み、【3-2】、【3-3】で仮固定してください。
- ② ①を控え柱ブラケット (下) に挿入してから、控え柱ブラケット (上) に挿入し、【3-2】、【3-3】で取付けてください。
- ③ ①を本締めしてください。

3-5 栈溝カバーの取付け

ポイント

- 栈溝カバーは中間部と端部で長さが異なり、長い方が端部です。



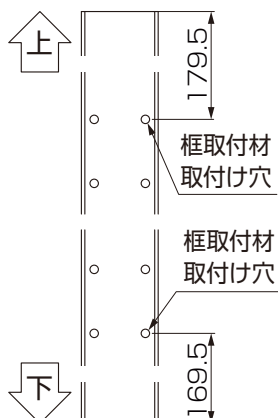
- ① 栈溝カバーを上栈・台車の溝にはめ込み、【5-2】で取付けてください。

4. 框の取付け

4-1 後框の取付け ※単独・後部の場合の作業です。

ポイント

- 後框には上下があります。下図を参照し、向きに注意して取付けてください。



【5-7】 M4×20
サラ小ネジ

上棧

向き確認

框取付材

台車

後框

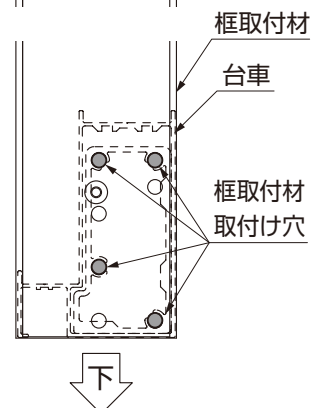
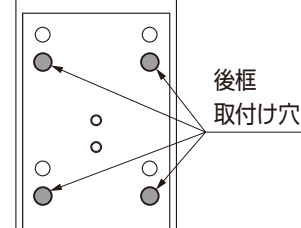
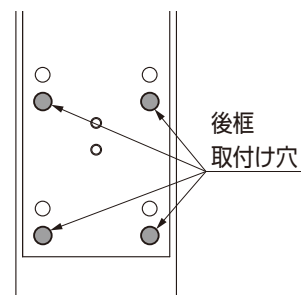
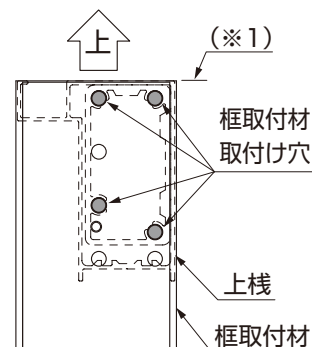
【4-1】 M4×10
トラス小ネジ

後框下キャップ

【5-4】 $\phi 5 \times 60$
ナベタッピンネジ2種

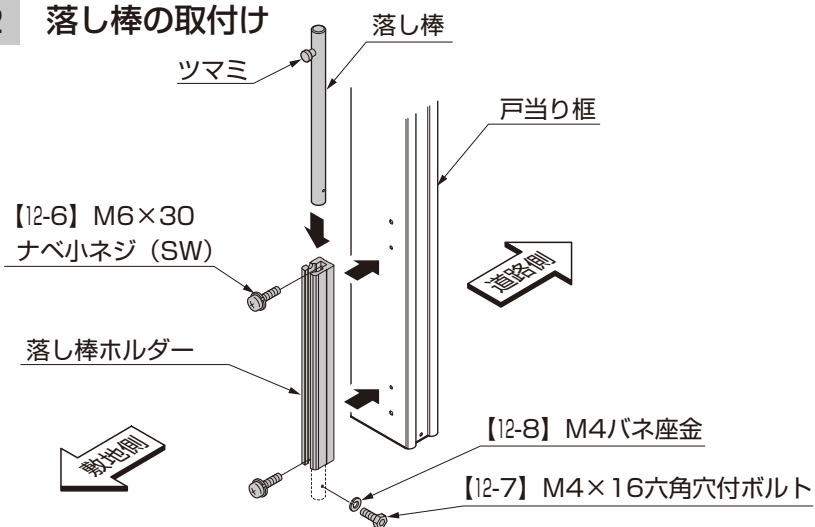
ポイント

- 框取付材の端部と上棧の上面がそろるように取付けてください。(※1)



- ① 框取付材を上棧と台車に【5-4】で取付けてください。
- ② 後框を框取付材に挿入し、【5-7】で取付けてください。
- ③ 後框下キャップを【4-1】で取付けてください。

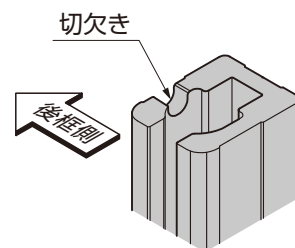
4-2 落とし棒の取付け



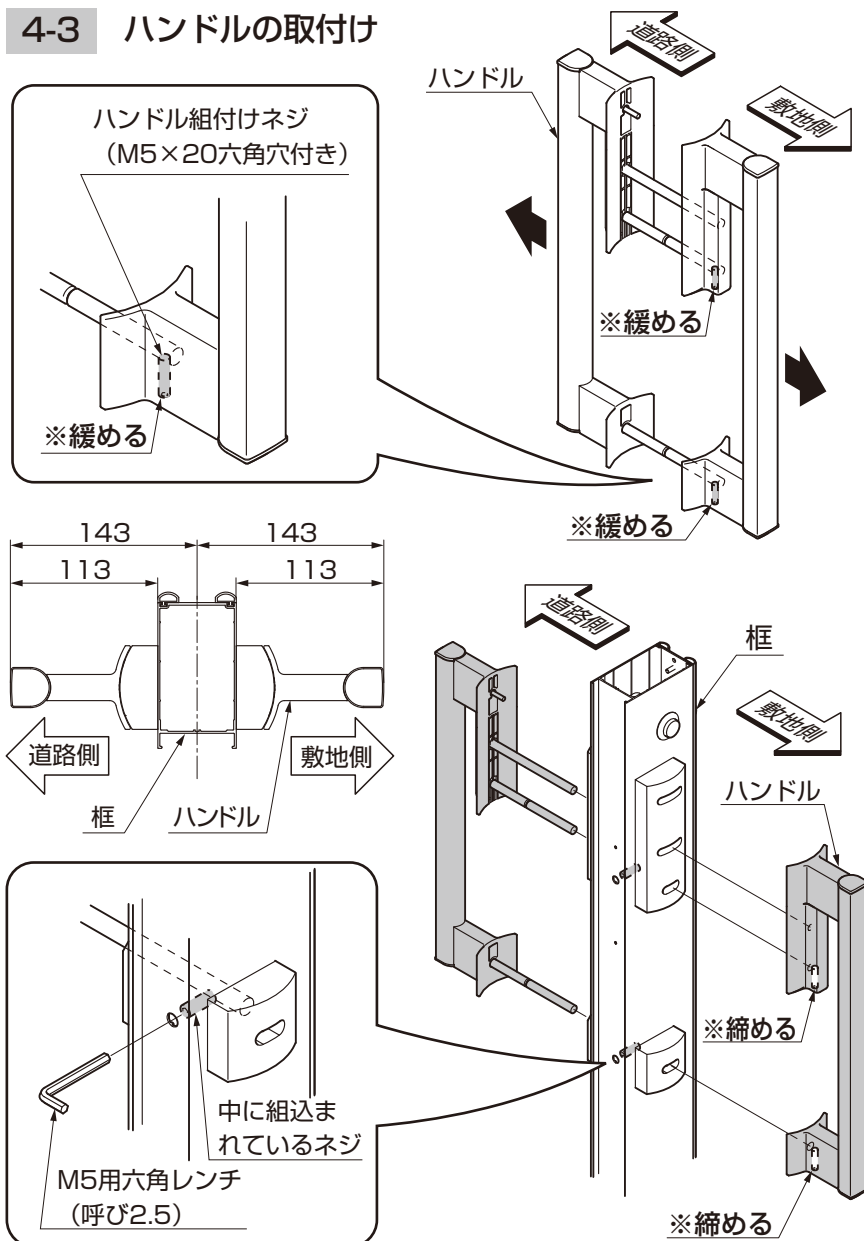
- ① 落とし棒ホルダーを戸当り框に【12-6】で取付けてください。
- ② 落とし棒を落とし棒ホルダーに通してから【12-7】、【12-8】を取付けてください。

ポイント

- 落とし棒ホルダーは切欠き部が後框側になるように取付けてください。



4-3 ハンドルの取付け



- ① ハンドル組付けネジ (M5×20六角穴付き) を緩めて、ハンドルを敷地側と道路側にわけてください。

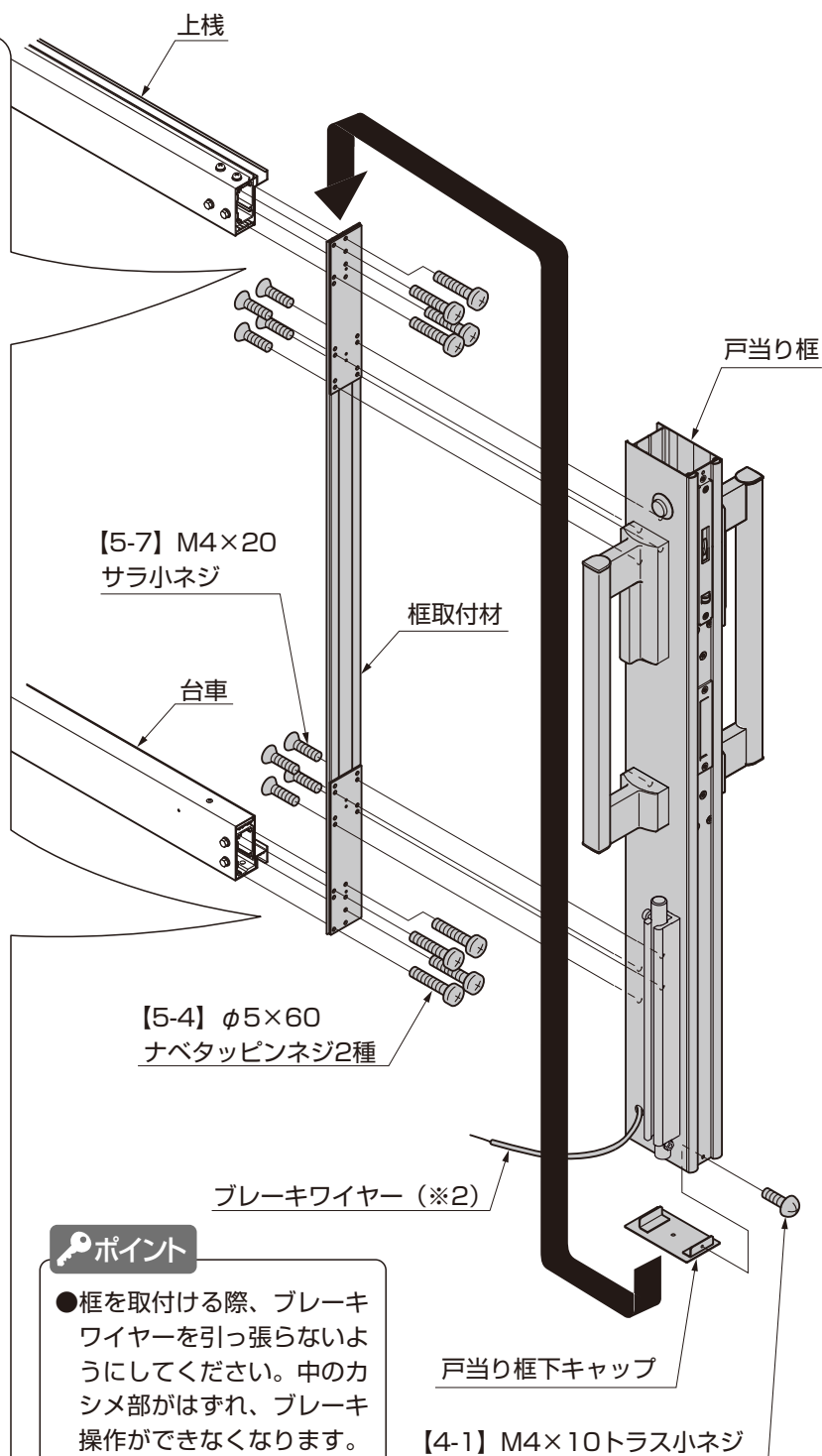
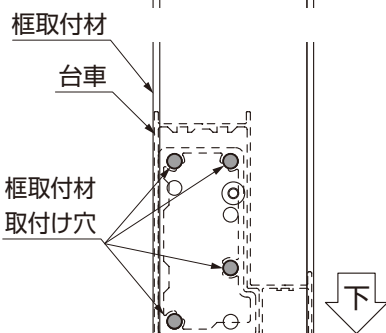
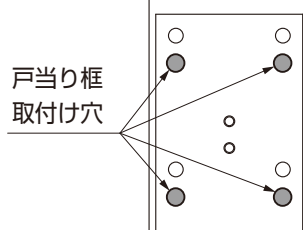
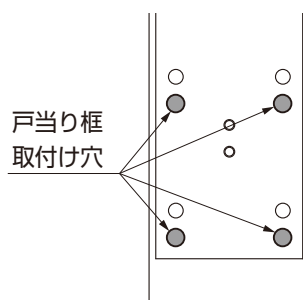
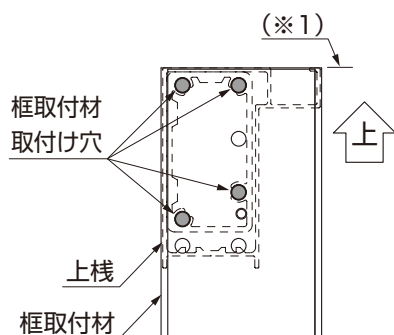
- ② 框にハンドルを差込んでください。
- ③ ハンドルが道路側と敷地側で対称となっているのを確認してから框に開いている側面の穴にM5用六角レンチを差込み、中のネジを締め付けてください。
- ④ ①で緩めたネジを締め付けてください。

4. (つづき)

4-4 戸当り框の取付け ※単独・先頭の場合の作業です。

ポイント

- 框取付材の端部と上棧の上面がそろうように取付けてください。(※1)



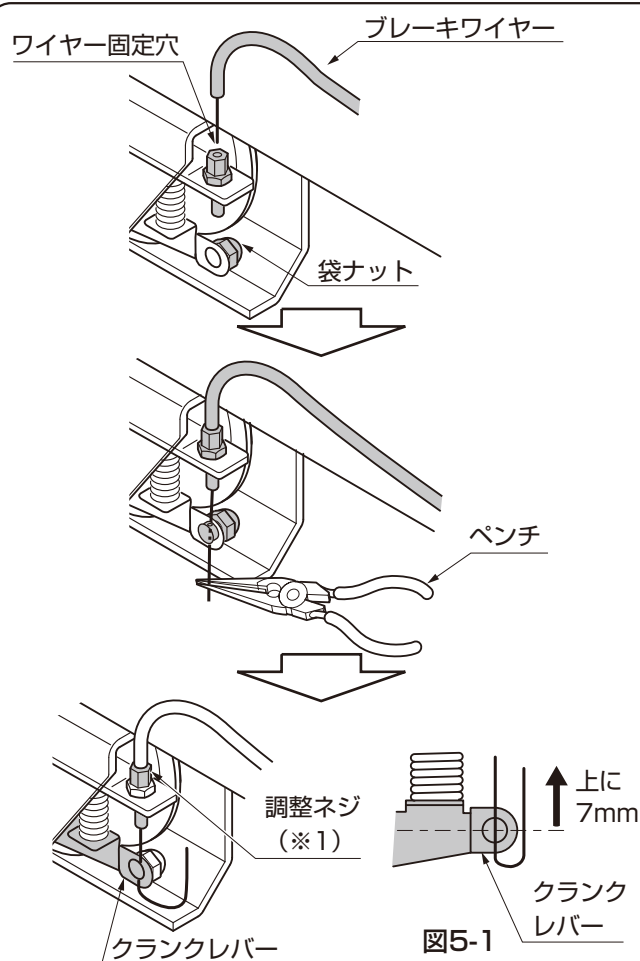
ポイント

- 框を取付ける際、ブレーキワイヤーを引っ張らないようにしてください。中のカシメ部がはずれ、ブレーキ操作ができなくなります。(※2)

- ① 框取付材を上棧と台車に〔5-4〕で取付けてください。
- ② 戸当り框を框取付材に挿入し、〔5-7〕で取付けてください。
- ③ 戸当り框下キャップを〔4-1〕で取付けてください。

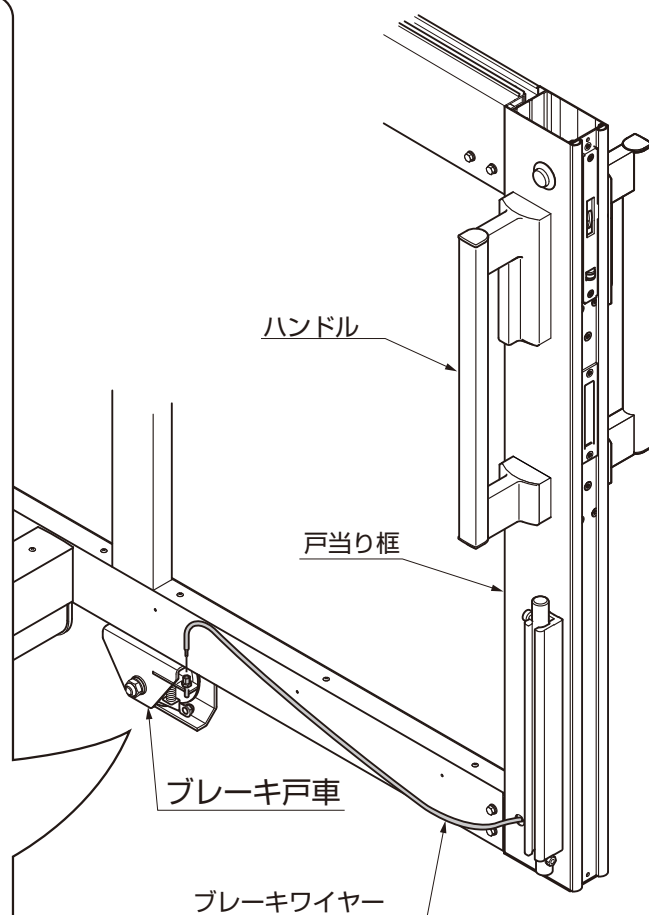
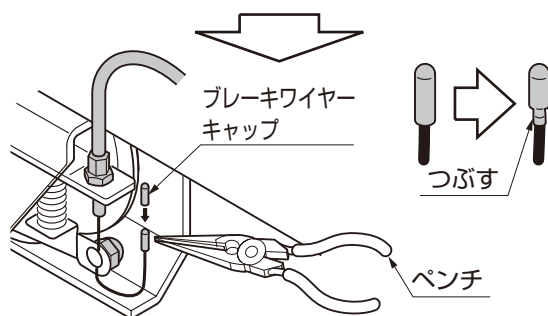
5. ブレーキの接続

5-1 ブレーキワイヤーの接続



ポイント

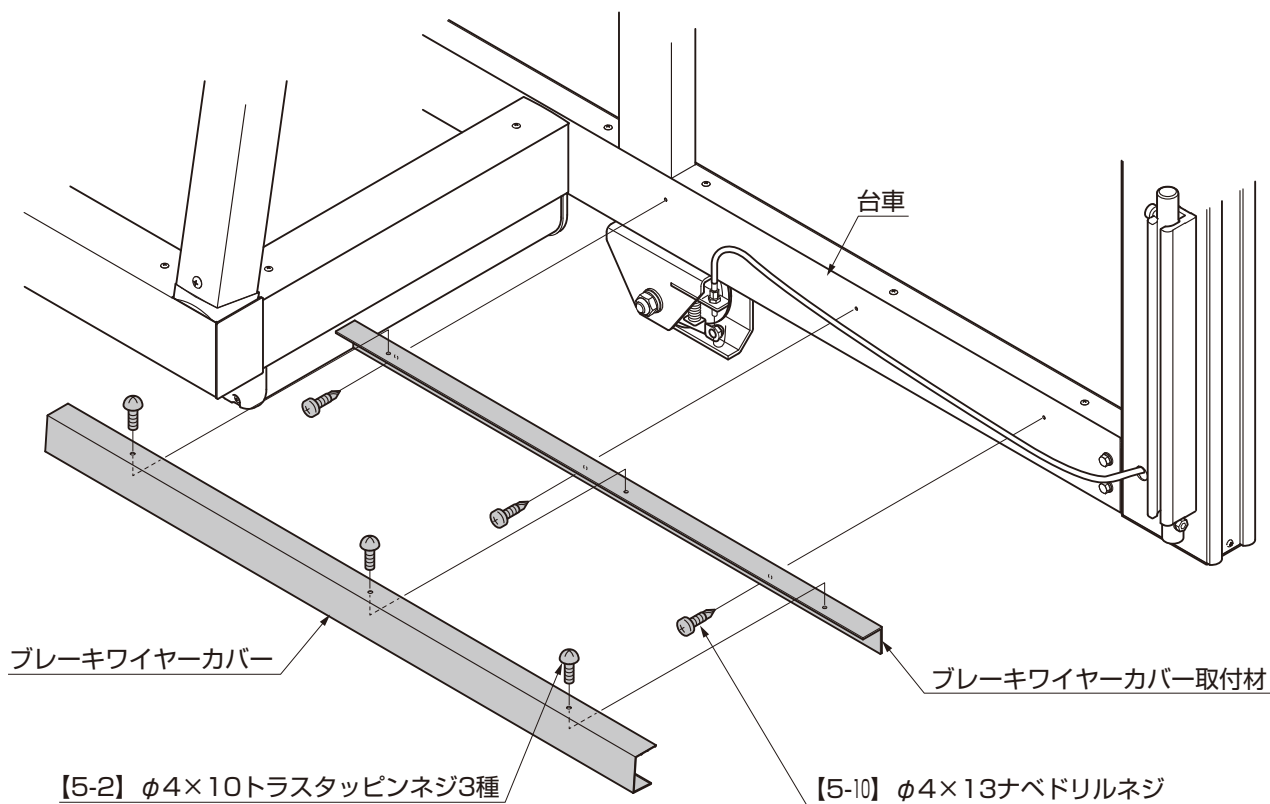
- 調整ネジを時計回りに回すとワイヤーが緩み、反時計回りに回すとワイヤーが張ります。(※1)



- ①戸当り框下部からでているブレーキワイヤーをブレーキ戸車のワイヤー固定穴に差込んでください。
- ②ブレーキ戸車の袋ナットを緩め、ブレーキワイヤー先端部を通してください。
- ③ハンドルを真っすぐにした状態でワイヤーをペンチなどで引っ張り、ハンドルがガタつかないのを確認したら、袋ナットを締めつけてください。
- ④ハンドルを動かし、ブレーキが解除され、引戸が動くことを確認してください。その際、クランクレバーが上に7mm動くのを目安に調整してください。(図5-1参照)
- ⑤ブレーキワイヤーを袋ナット部から上方に折り曲げ、先端にブレーキワイヤーキャップをかぶせ、抜けないようにペンチでつぶしてください。

5. (つづき)

5-2 ブレーキワイヤーカバーの取付け



- ①ブレーキワイヤーカバー取付け材を台車に【5-10】で取付けてください。
- ②ブレーキワイヤーカバーをブレーキワイヤーカバー取付け材に【5-2】で取付けてください。

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

4 パネルの施工

1. F1パネルの場合

1-1 板張り端部取付材、板張り中間取付材の取付け

ポイント

- 板張り端部取付材には上下があります。端部から2つ目の意匠板取付穴が短い方が上側、長い方が下側となります。

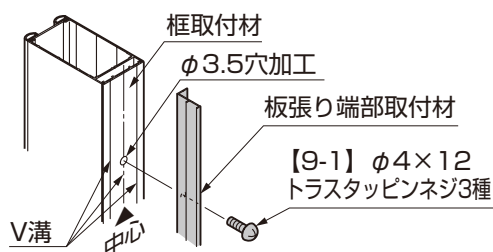


図1-2 板張り端部取付材

ポイント

- 板張り中間取付材は左右で意匠板取付穴位置が異なります。

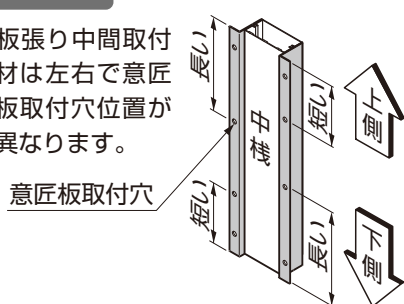
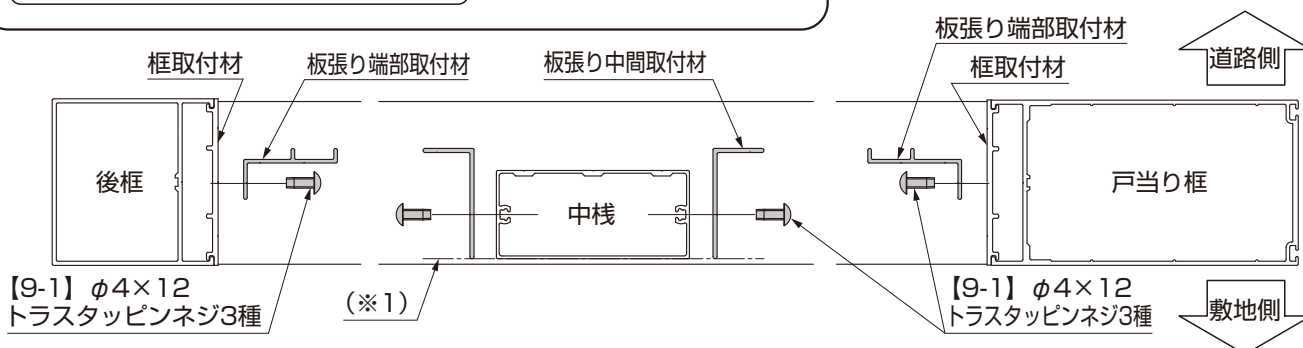


図1-1 板張り中間取付材



- ①板張り中間取付材を中棧にあてがい、中棧の中心にφ3.5の穴加工をしてください。（図1-1参照）

補足

- 板張り中間取付材の位置は中棧の敷地側にそろいます。（※1）

- ②板張り中間取付材を①の加工穴に【9-1】で取付けてください。（図1-1参照）
- ③板張り端部取付材を框取付材にあてがい、框取付材の中央のV溝にφ3.5の穴加工をしてください。（図1-2参照）
- ④板張り端部取付材を③の加工穴に【9-1】で取付けてください。（図1-2参照）

1. (つづき)

1-2 意匠板の加工（敷地側から見た図）

ポイント

●意匠板は部位により加工が異なります。

意匠板(最上部)

意匠板(中間部)

⋮

意匠板(中間部)

意匠板(最下部)

表1-1

サイズ	n
W30	1
W40	2
W50	3
W60	4

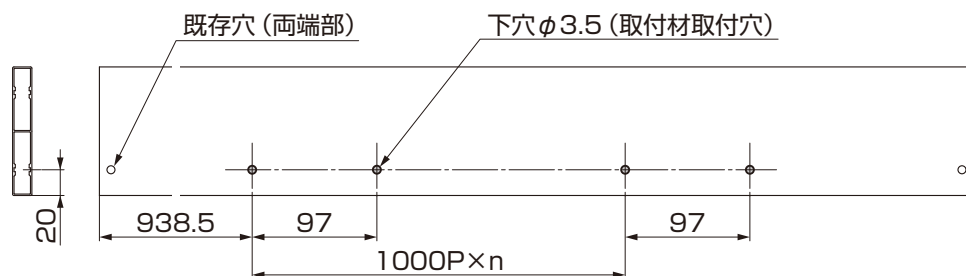


図1-3 最上部

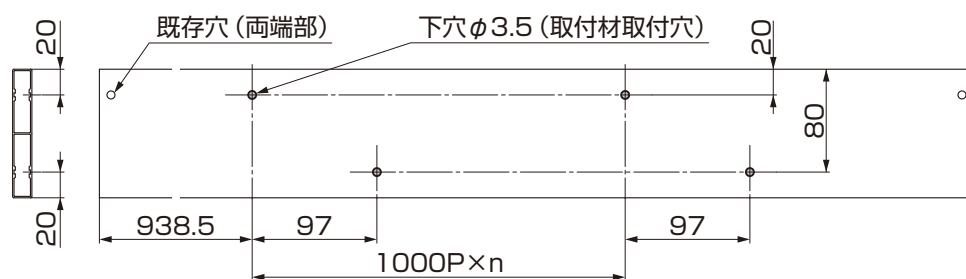


図1-4 中間部

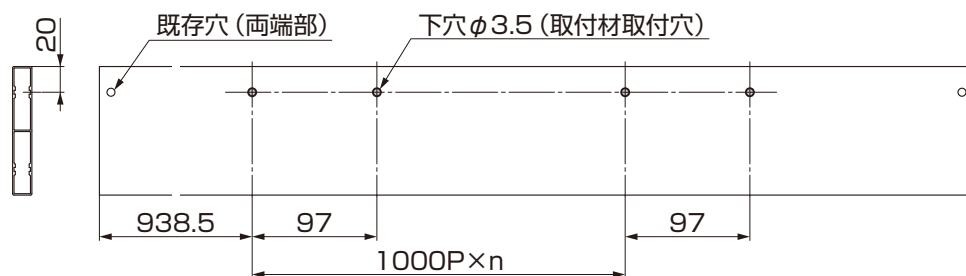


図1-5 最下部

①最上部、中間部、最下部の意匠板を加工してください。(図1-3、図1-4、図1-5参照)

1-3 意匠板の取付け

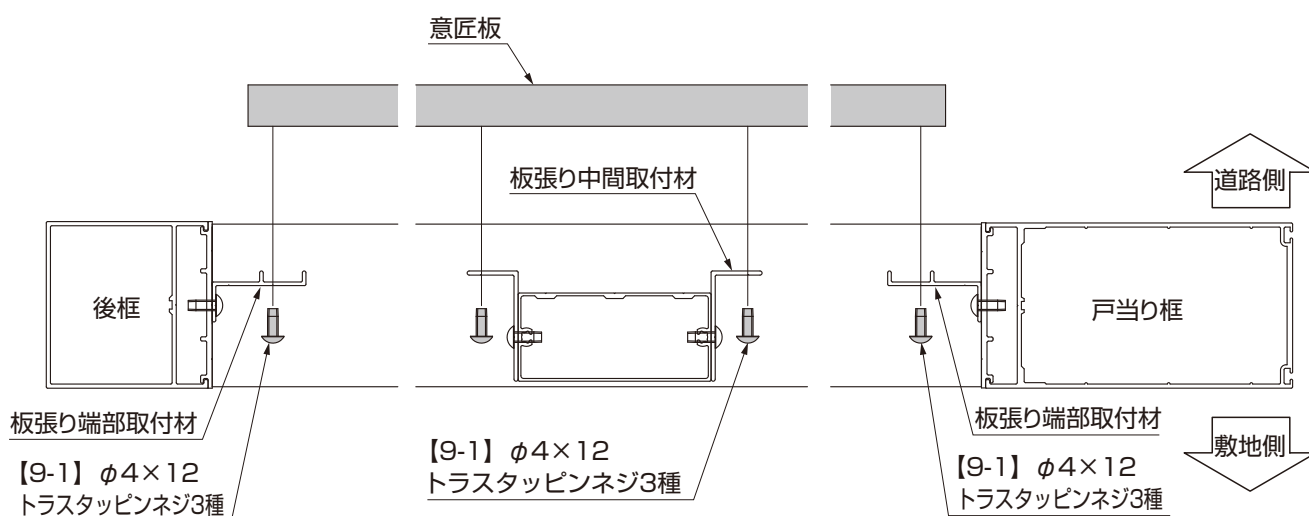
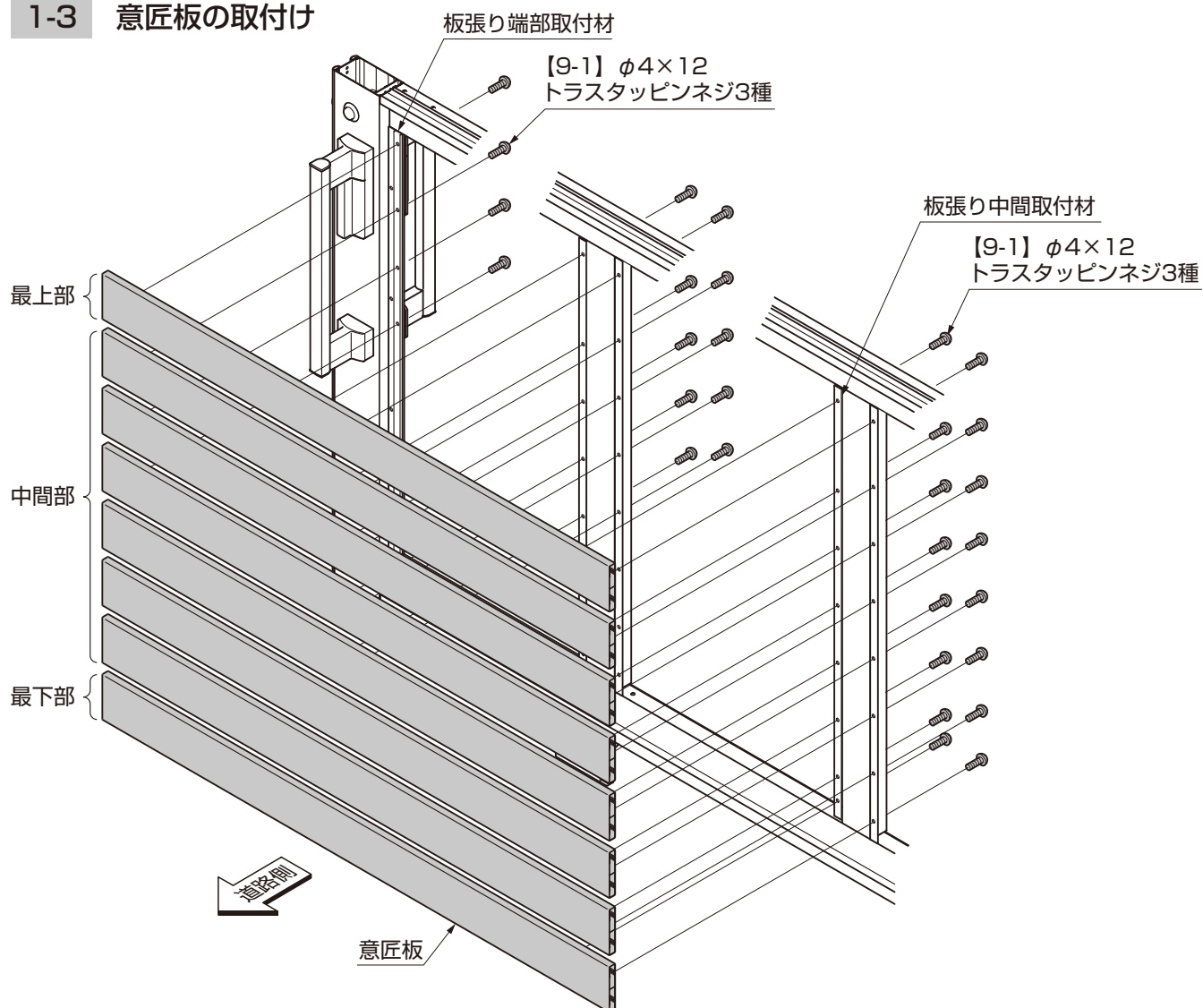


図1-6

①意匠板を板張り端部取付材と板張り中間取付材に【9-1】で取付けてください。

1. (つづき)

1-4 板張り端部枠の取付け

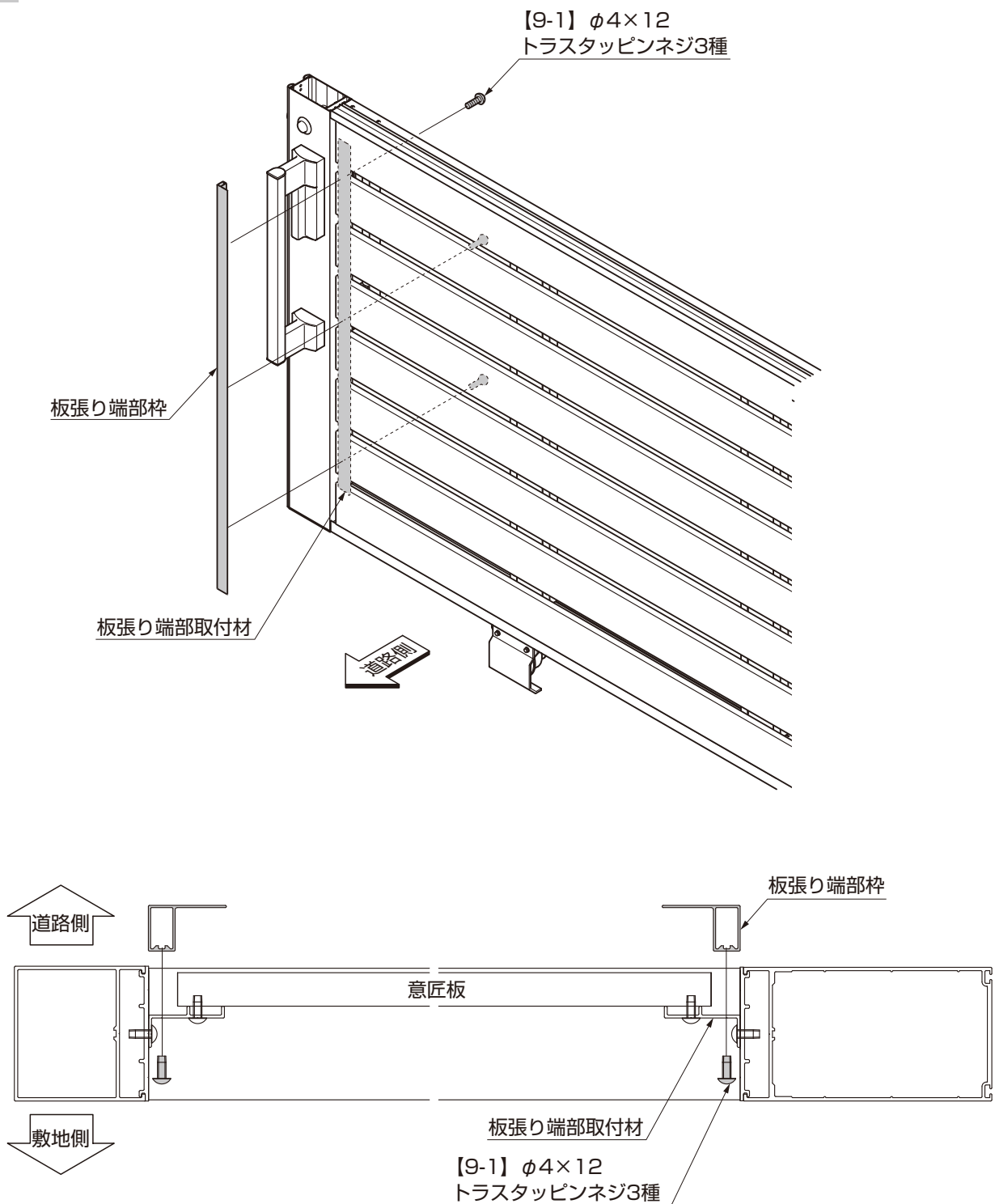


図1-7

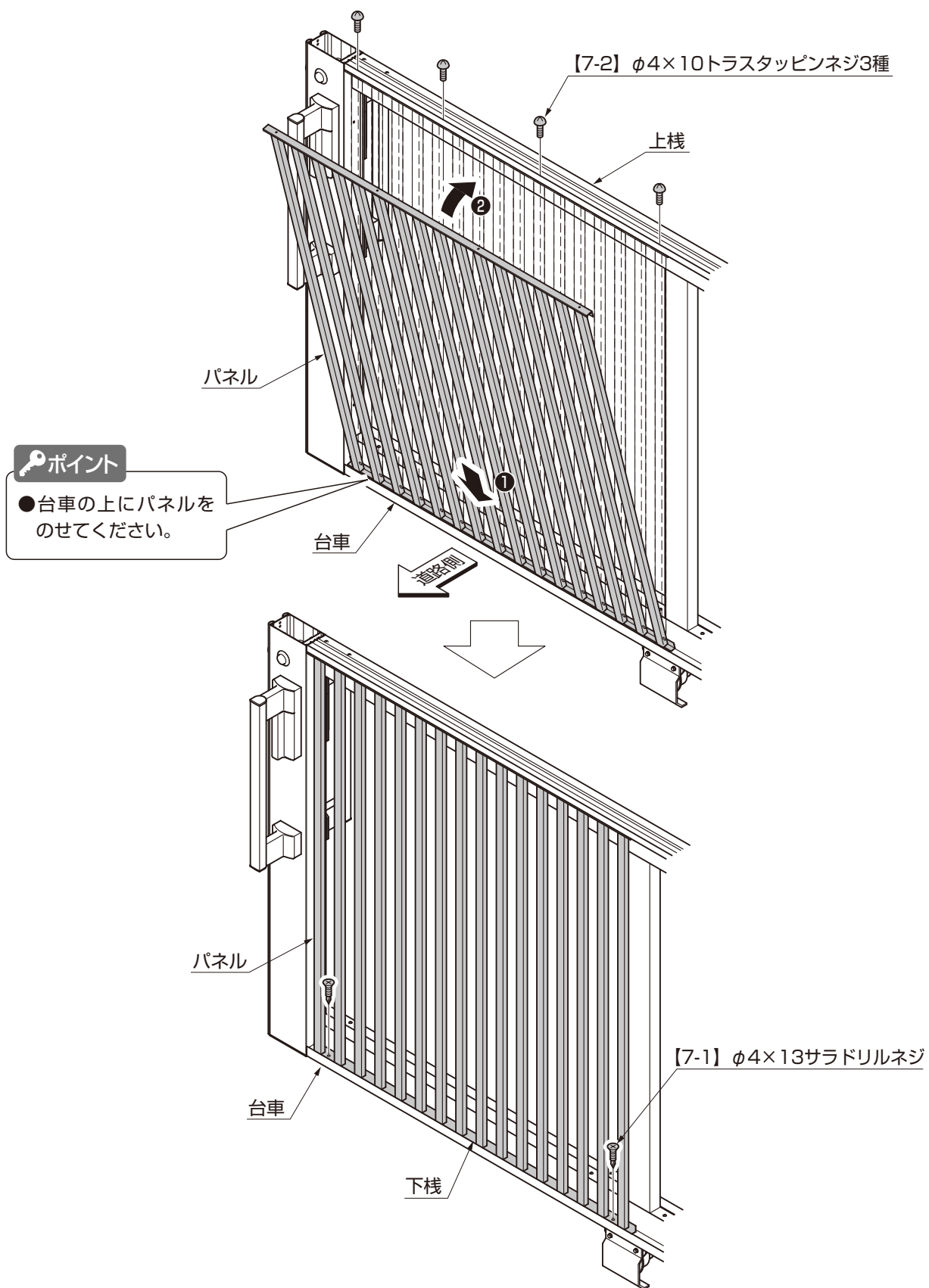
①板張り端部枠を板張り端部取付材に【9-1】で取付けてください。



補足

●板張り端部枠がはまらない場合は意匠板の固定ねじをゆるめて調整してください。

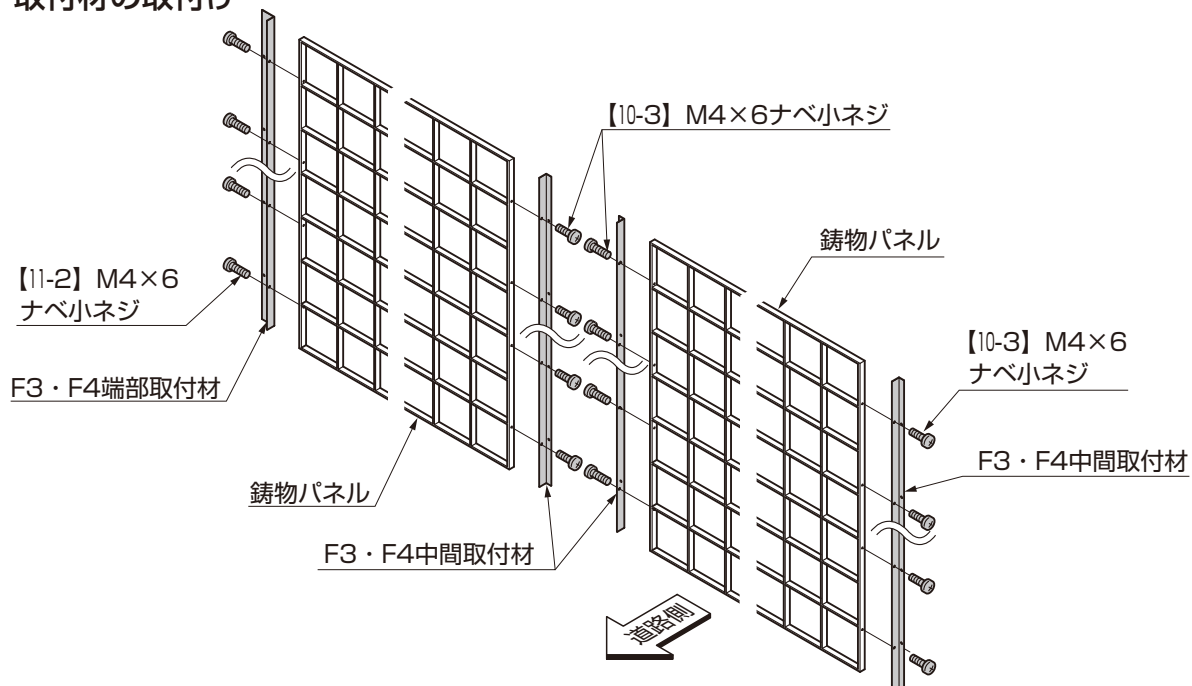
2. F2パネルの場合



- ①パネル下棧を台車にのせてから上棧に【7-2】で取付けてください。
- ②パネル下棧を台車に【7-1】で取付けてください。

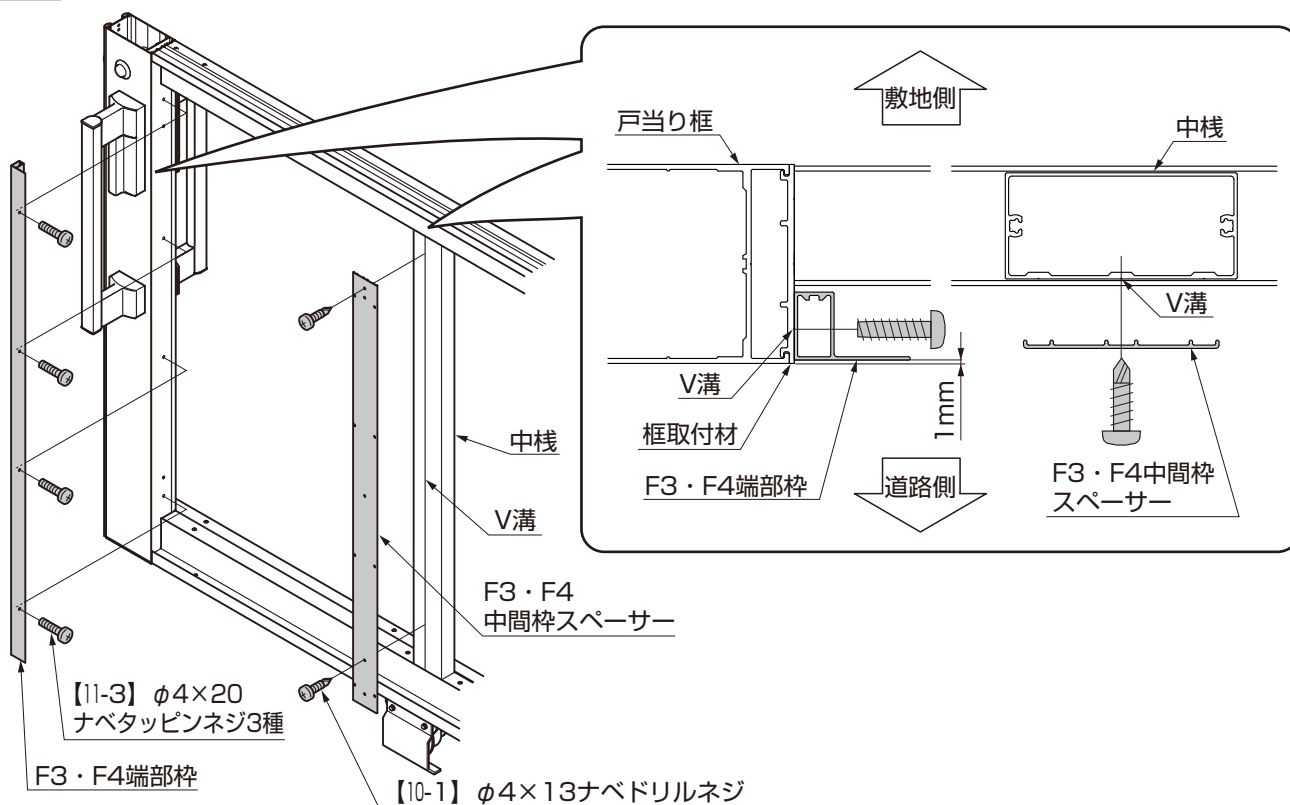
3. F3・F4パネルの場合

3-1 取付材の取付け



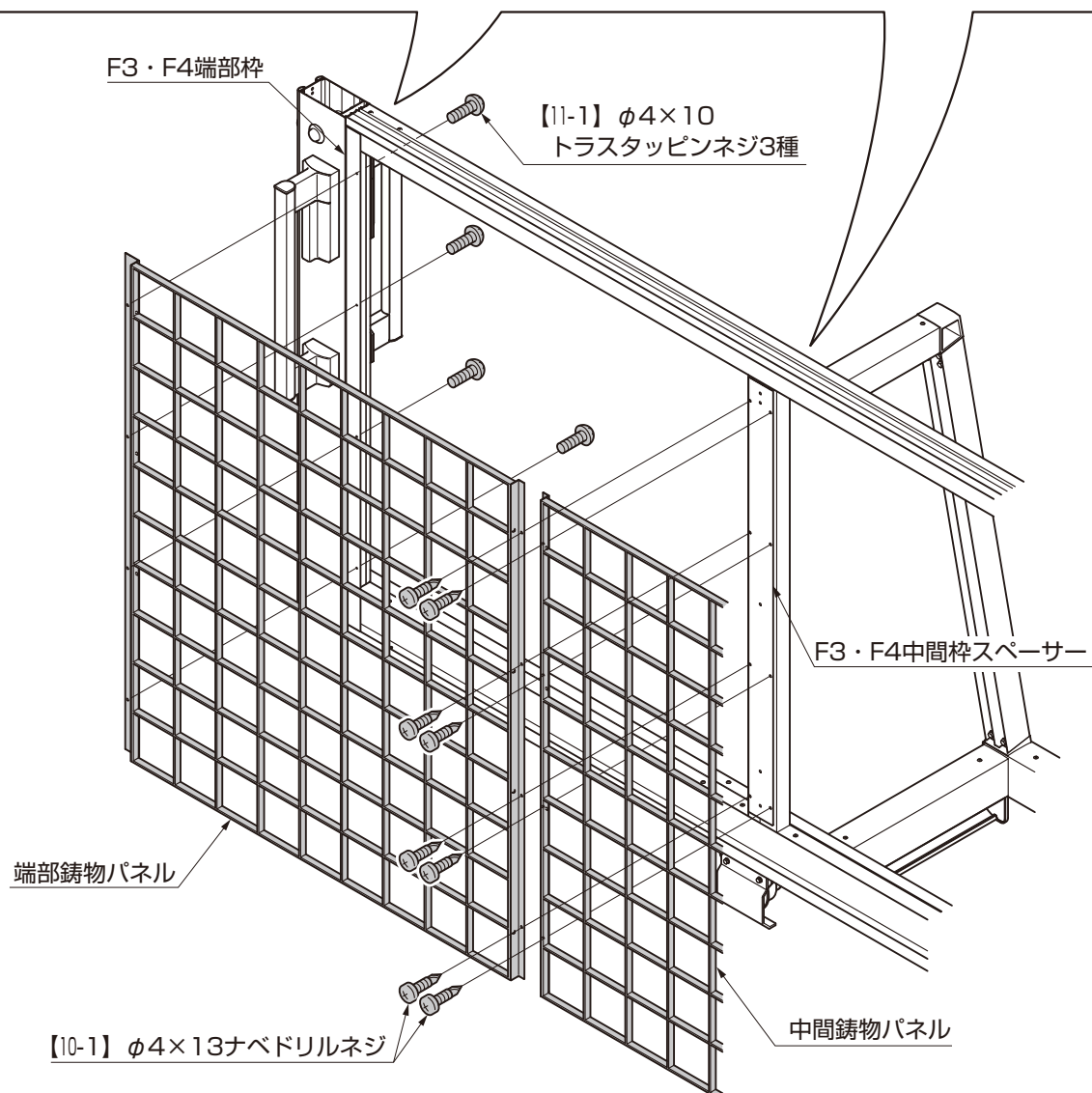
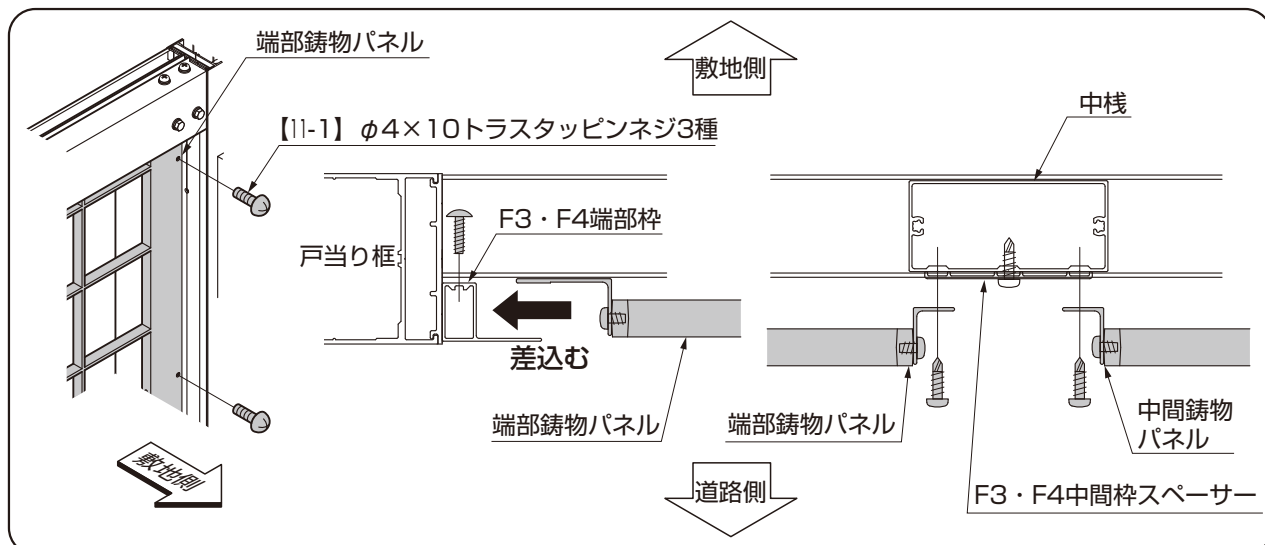
- ① 端部に取付ける鋳物パネルの端部側にF3・F4端部取付材を【11-2】で取付けてください。
- ② ①の反対側にF3・F4中間取付材を【10-3】で取付けてください。
- ③ 中間に取付ける鋳物パネルの左右にF3・F4中間取付材を【10-3】で取付けてください。

3-2 パネル中間枠スペーサー、パネル端部枠の取付け



- ① F3・F4中間枠スペーサーを中棧の中心のV溝に【10-1】で取付けてください。
- ② F3・F4端部枠を框取付材の道路側のV溝に【11-3】で取付けてください。

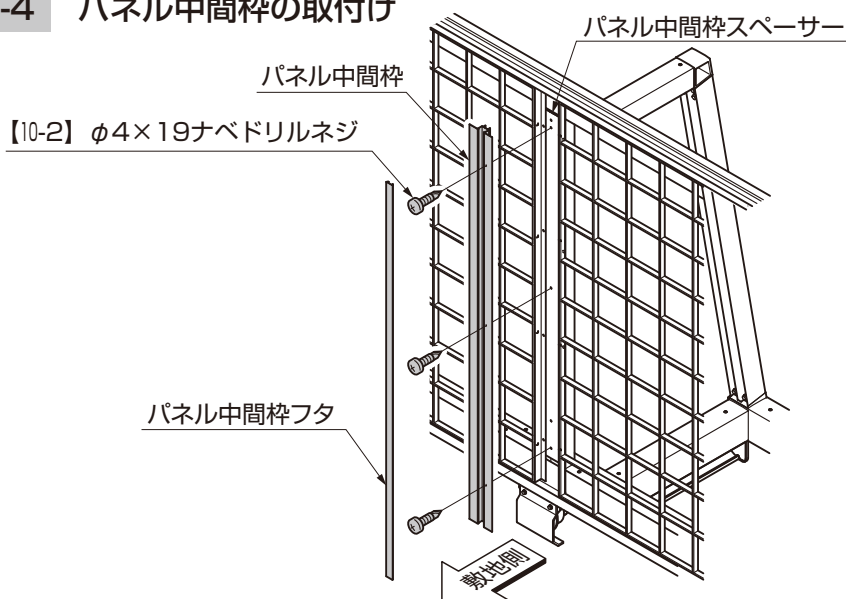
3-3 パネルの取付け



- ①端部鋳物パネルをF3・F4端部枠に【11-1】で、F3・F4中間枠スペーサーに【10-1】で取付けてください。
- ②中間鋳物パネルをF3・F4中間枠スペーサーに【10-1】で取付けてください。

3. (つづき)

3-4 パネル中間枠の取付け



- ① パネル中間枠をパネル中間枠スペーサーに【10-2】で取付けてください。
- ② パネル中間枠フタをパネル中間枠にはめ込んでください。

4. 笠木の取付け

パネルの施工

●笠木連結部の場合

ポイント

- 連結部シールは笠木に合わせてカットしてから貼り付けてください。

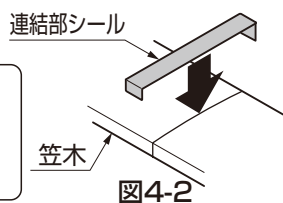


図4-2

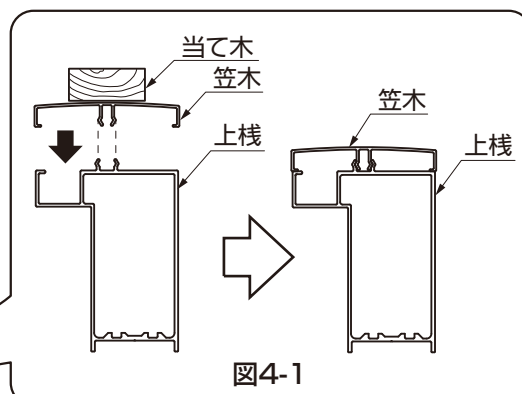
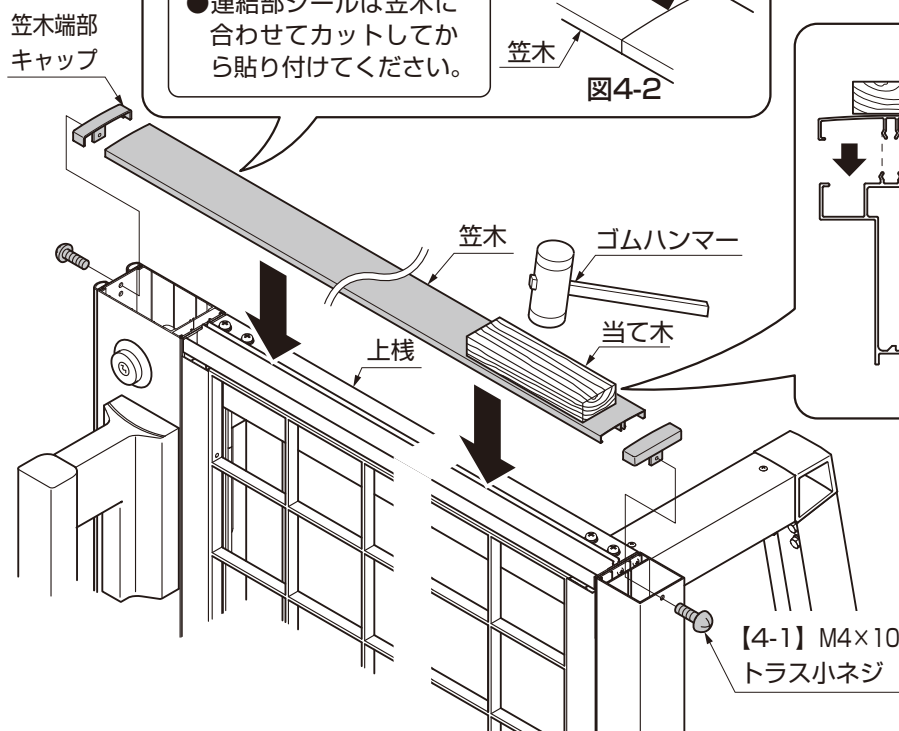


図4-1

ポイント

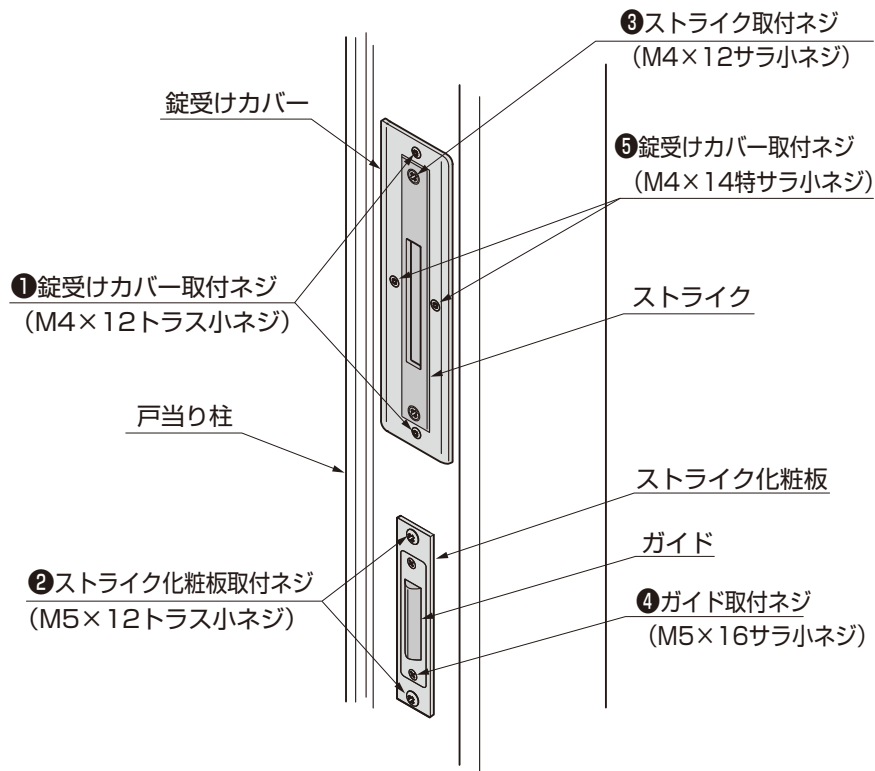
- 当て木、ゴムハンマーを使用して端部から少しずつたたき入れてください。直接ゴムハンマーで笠木をたたくと笠木が変形してしまうおそれがあります。

- ① 笠木を上棧にはめ込んでください。(図4-1参照)
- ② 笠木端部キャップを【4-1】で取付けてください。
- ③ 笠木連結部には連結部シールを笠木に合わせてカットして笠木に張り付けてください。(図4-2参照)

5 部品の取付けと調整

1-1 ストライク（錠受け）の調整

(1) 片引き



①施工終了後、

- 「①錠受けカバー取付ネジ」(M4×12トラス小ネジ) 2個と
- 「②ストライク化粧板取付ネジ」(M5×12トラス小ネジ) 2個と
- 「③ストライク取付ネジ」(M4×12サラ小ネジ) 2個と
- 「④ガイド取付ネジ」(M5×16サラ小ネジ) 2個と
- 「⑤錠受けカバー取付ネジ」(M4×14特サラ小ネジ) 2個を緩めてください。

②ストライク、ガイドを引戸本体側の錠本体、引戸本体側のガイド受けの位置と合うように調整してください。

③調整が終わったら、各ネジを締めて固定してください。

ポイント

- ネジを外してしまうと裏板が外れ落ちてしまい、ふたたび組付けられなくなりますので絶対に外さないようにしてください。

1-2 前後ストッパーの取付け

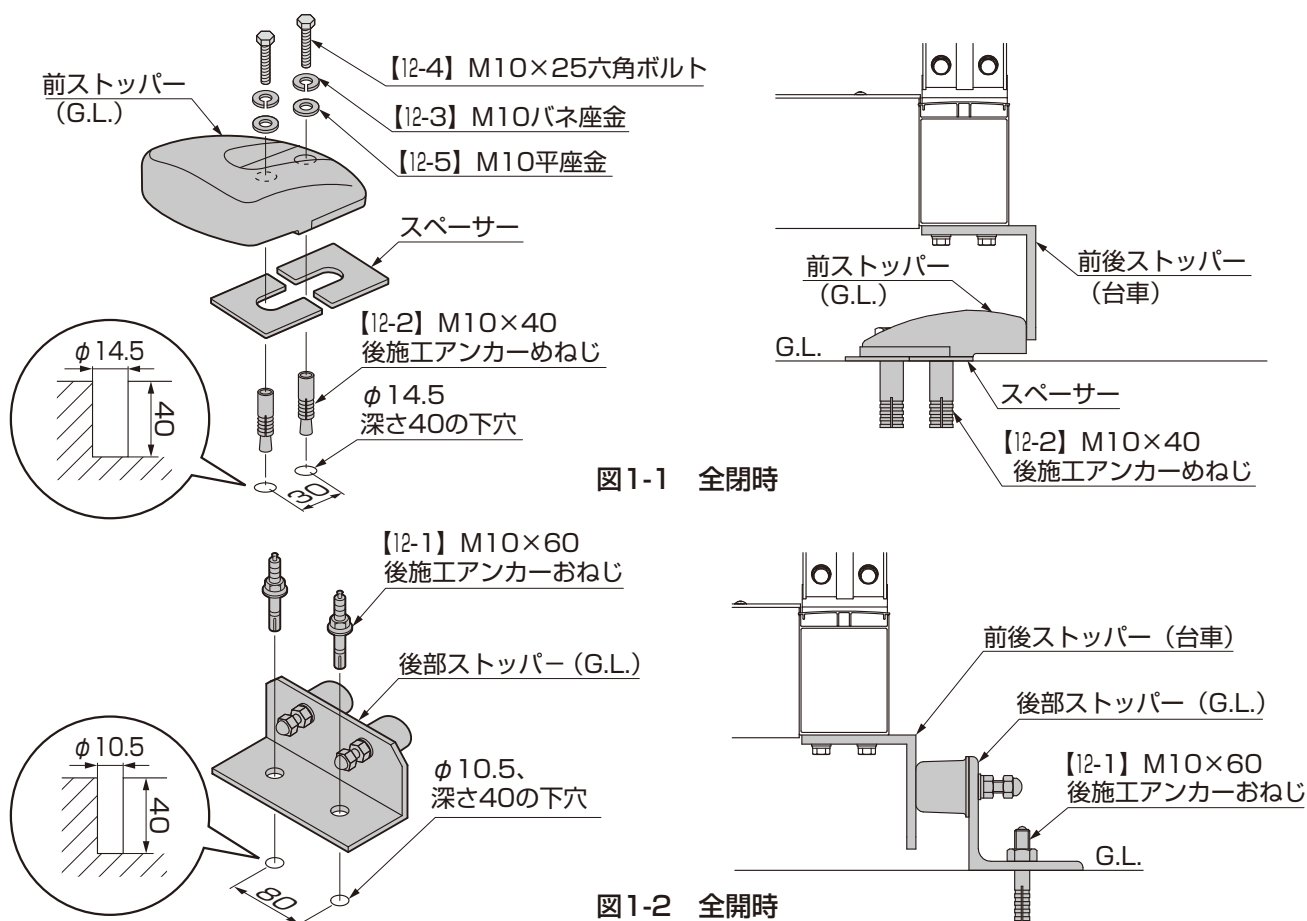


図1-1 全閉時

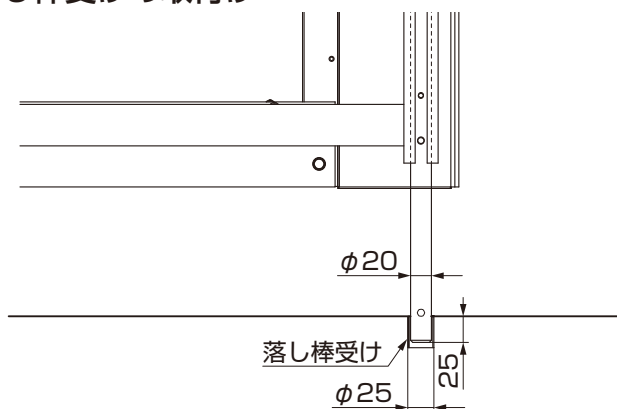
図1-2 全開時

①前ストッパー、後部ストッパーは本体が組上がった後、現場の納まりに合わせて固定してください。

ポイント

- 前後ストッパーと前ストッパー、後部ストッパーがそれぞれきちんと当たる位置に施工してください。
- ボルト、ネジ類は、ガタつきのないよう確実に締付けてください。

1-3 落し棒受けの取付け



①落し棒受けは、引戸を全閉状態と全開状態で、落し棒が落とし棒受けに入る位置に各々埋込んでください。

取説コード

D627

JZZ634824
201504A_1039
201805C_1039